

会長のページ 統一地方選挙 .....	河野 雅行	3
日州医談 地域包括ケアシステムの進化・深化に向けて .....	石川 智信	4
随 筆 その日の出来事 .....	串間 美昭	6
真夏に植えた庭の花壇 .....	友成 久雄	8
エコー・リレー (571) .....	河野 敦子, 森園 健介	11
メディアの目 「数字」に含まれている努力 .....	中川 美香	12
身近なお困りごと相談室 .....	高山 桂	13
国公立病院だより (国立病院機構都城医療センター) .....	吉住 秀之	18
宮崎大学医学部だより (宮崎大学医学部附属病院-リハビリテーション部-)	.....	.....
.....	荒川 英樹	20
専門分科医会だより (眼科医会) .....	中村 彰伸	21
診療メモ 気管支喘息について .....	松元 信弘	64
宮大医学部学生のページ 部活動紹介 ~FMIG宮崎~ .....	加藤利佳子	66

あなたできますか? (令和3年度医師国家試験問題より) .....	10
宮崎県感染症発生動向 .....	14
各郡市医師会だより .....	16
第3回各郡市医師会長協議会 .....	22
ベストセラー .....	23
九医連第124回臨時委員総会 .....	24
九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会 .....	25
第122回九州医師会総会・医学会 .....	28
日医インターネットニュースから .....	34
医師協同組合だより .....	36
医師国保組合だより .....	39
会員の異動・変更報告 .....	40
理事会日誌 .....	42
県医の動き .....	46
ドクターバンク情報 .....	47
行事予定 .....	53
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会 .....	55
あ と が き .....	74

お知らせ 日本医師会公式キャラクター「日医君」LINEスタンプ .....	27
医師年金ご加入のすすめ .....	32
医療勤務環境改善支援センター .....	33
女性医師の皆様へ (マタニティ白衣無料貸出) .....	41
日州医事へのご意見・ご感想 .....	51
勤務医・研修医の先生へお知らせ	.....
~春の異動シーズンに備えて~ (医師会・医師協同組合) .....	61
郡市医師会への送付文書 .....	68
医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください! .....	72
日州医事原稿募集のお知らせ .....	73

## 医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：写真〕

### のら猫の散歩

ここは国鉄 宮之城線 桶脇駅鉄道記念館です。人懐っこい猫が散歩をしていました。なんにもないですが、桜の時季はきっと綺麗でしょう。

都城市 やま じ たけし  
山 路 健

## 会長のページ

## 統一地方選挙

かわ の まさ ゆき  
河 野 雅 行

我々が政治家を選ぶのに大小さまざまな段階の選挙があり、そのうちの一つに全国で3月から4月にかけて行われる統一地方選挙があります。以前は選挙の日時は全国で個々に行われていましたが、経費の削減、告知のしやすさ、有権者の意識を集中させられるとの利点から、1947年4月全国一斉に始まりました。しかし、年月が経つに従いそれぞれの自治体の理由（首長の不祥事や市町村の合併など）により、今では当初の目論見どおりに実施しているのは20数パーセントにまで減っているそうです。当初の主旨から外れて結局は元の状態に戻りつつあります。なかなか思惑どおりにはならないようです。

宮崎県でも知事選挙は当時の知事不祥事による中途退陣を受けて2006年から12月に行われています。前は30数%であった投票率が、今回は注目された選挙で56%に達して格段に上昇しました。しかし、年末の選挙は有権者も候補者も寒いうえに忙しい中で大変です。投票率の低い原因の一つかもしれません。投票率を上げるためにも、県民が選挙に行きやすいように再度見直しできないのでしょうか。昨年末の知事選では現職と元職の一騎打ちで全国でも注目されました。厳しい選挙戦の結果、現職の河野知事が再選されました。

県議会議員選挙につきましては、毎年県医師会より県議会議員に多くの要望を挙げており前向きに検討していただいていますので、県医師会の主旨に賛同していただける候補者を県医連から推薦しております。

市町村の選挙につきましては、国民健康保険や介護保険は市町村の裁量に任せられていますし、最終的な地域医療は市町村を単位とした医療圏が担うこととなります。昨年交付されました物価高騰に伴う補助金の配分につきましても市町村にもゆだねられています。市町村議会議員は、地元以最も近く知人も多いため、直接対面での要望も受け止めてもらえます。市町村長・議会議員はそれぞれの郡市医師連盟の判断で推薦していただいています。

このように地方自治体選挙では政治が身近にある利点があります。しかし、小規模の選挙では顔が見え過ぎるために選挙のたびに住民が分裂して、地域によっては選挙後にしこりを残す例もあるそうです。

いずれにしても地域医療と密接に関与するのは地方自治体です。よりよい医療を提供するには医師会と地方自治体との連携は欠かせません。そのためにも地方選挙を重要視し、慎重に投票する必要があります。

(令和5年2月16日)

## 日州医談



## 地域包括ケアシステムの進化・深化に向けて

宮崎県医師会 常任理事 <sup>いし</sup>石 <sup>かわ</sup>川 <sup>とも</sup>智 <sup>のぶ</sup>信

2025年に完成を目指している地域包括ケアシステムの構築については、残念ながら地域差が大きく、見通しが不透明である。令和2・3年度に日本医師会地域包括ケア推進委員会に参加し、議論されたことの要点を述べ、当県での推進のための参考にしていただきたい。

**(1) かかりつけ医の役割とその機能～医療的機能と社会的機能～**

かかりつけ医の機能には医療的機能と社会的機能がある。前者は日常診療においてこれまで果たしてきた専門的な治療を行い、他科・他院との連携による適切な医療へ導く役割である。更にそこに患者が持ちかける保健、医療、福祉のさまざまな問題に、何でも気軽に相談できる医師として全人的視点から対応していくことも大事な役割である。

また社会的機能については、検診・がん検診、母子保健、学校保健、産業保健、地域保健などの社会的活動や行政活動に積極的に参加するとともに、保健・介護・福祉関係者との連携を行うことで、地域住民が可能な限り地域に住み続けることを支援していくことである。そこには在宅医療への理解や参画も求められる。

**(2) 全世代に対応したシステムの構築と次世代の理解と共同**

いまだに地域包括ケアシステムという言葉や概念は地域住民に普及していない。また高齢者に特化した地域づくりという認識も多い。

しかし若い世代もいつか必ず年を取るわけであり、自分たちが高齢化したときの社会の在り方を議論していく一つのテーマとして地域包括ケアシステム作りは意味がある。私たちがかかりつけ医ができることは学校医や産業医として若い世代と向き合える機会をとらえて啓蒙活動を行うことであろう。

**(3) 将来を見据えた元気高齢者の育成支援について**

軽度要介護者やフレイル状態の高齢者はこれまでは介護保険の範囲内で支援を受けることが可能であった。しかしすでに要支援者については介護保険から外されており、各市町村が独自に設ける地域支援総合事業を利用するように制度変更がなされている。更に介護保険財政の悪化にともない要介護1、2の人も介護保険から外されることが中央では議論されている。幸い次期改定では免れることができたが、その次の改定では地域支援総合事業の対象となる可能性が高い。そのため医師会やかかりつけ医が、検診の結果をふまえたフレイルの予防指導として「リハビリ、口腔ケア、栄養の一体的実施」を推進していくために、地域支援事業やさまざまな通いの場に積極的に参画していくことが求められる。例えば東京都医師会ではフレイルサポート医を独自のカリキュラムを設けて養成している。地域のさまざまなインフォーマルなサービスと連携して、フレイル予防のための社会的処方箋を作成できる医師を養成することを目的

としている。これは認知症サポート医養成事業が、果たすべき役割の曖昧さなどから失敗に終わった苦い経験に基づき、理念や役割を明確にして実際に地域で活躍する医師の養成を目指しているとのことである。

#### (4) 地域リハビリテーションの再構築

地域リハビリテーションセンター事業が実を結ばないまま各都道府県で予算措置が終了に追い込まれたことはご存じのとおりである。これはセンター事業を請け負った病院にとって負担だけが大きく、交付される予算がわずかであったことが原因であるが、同時に宮崎においてはリハの専門職を派遣できる余裕のないセンターが多かったことにも起因している。令和4年度から国は新たに、都道府県リハビリテーション協議会および都道府県リハビリテーション支援センターの設置を義務化した。そこが市町村における一般介護予防事業で行われる地域リハビリテーション活動支援事業と連携することになっている。しかしリハ専門職の持続的な派遣などの継続性、質の向上が重要であり、地域医師会と市町村自治体とが連携し、医師会が窓口になって地域リハビリテーション活動支援事業を支えていくことが重要である。そしてそこでは機能訓練などの医療的リハビリテーションではなく、社会的活力を高め自分らしい生き方を支援するための社会的リハビリテーションの実施が求められる。

#### (5) ACP (Advance Care Planning<sup>注1</sup>) 理念の普及啓発

この3年間のコロナ感染症流行下において、私たちは多くのことを考えさせられることになった。特に命のトリアージの問題や、死に目に会えないだけでなく、遺体にすら面会できない別れを強いられるなど生死の問題を否応なく突きつけられた。家族の死を実体験として経験してない若い世代にとって親の死

は、理屈としてはわかっているにもかかわらず実際の場面では受け入れ難いものとなっている。これから日本が世界に先駆けて経験していく超高齢化社会において、年齢順に見送られることがいかに自然で幸せなことかを親の世代が子に伝えていくことは重要である。しかしなかなかその機会が得られない中、ACPの実践を通して命の受け継ぎを行うことはいい機会ととらえるべきであろう。その普及のためには日々の診療を通じて、かかりつけ医が大きな役割を果たせると考えられる。

#### (6) 地域医療構想との連携

コロナ感染症流行はこれまで行われてきた平時の医療供給体制づくりでは大きなひずみが出ることを露呈した。緊急時には施設や自宅での医療供給体制と入院医療体制とがうまく連動していくことが求められる。そのためこれからの医療体制づくりを行う際には、もっと在宅医療提供体制の問題が議論されるべきである。過疎化の進む地域では中心部に居住・医療・福祉を効率的に整えられるコンパクトシティづくりなどの地域包括ケアシステムと地域医療構想が車の両輪として連動していくことが求められている。

#### おわりに

地域包括ケアシステムは医療・介護にとどまらず、少子化や人口減少対策を含めた今後の地域づくりをどうするかという大きなテーマである。しかし医師会やかかりつけ医が積極的な関りを期待されているという意味では医療・介護を通じた取組みが中心になってくる。ここまで地域包括ケアシステムの進化・深化に向けた課題と展望について、私見も交えながら列挙した。皆様にも一緒に考えていただく一助になればと願う。

注1：人生の最終段階の医療・ケアについて本人が家族等や医療チームと事前に繰り返し話し合うプロセス

## 随 筆

## その日の出来事

西都市 鶴田病院 <sup>くし</sup> <sup>ま</sup> <sup>よし</sup> <sup>あき</sup>  
串 間 美 昭

2022年12月18日その日は、冷たい風が吹く曇りがちな冬ゴルフらしい大変寒い日でした。そろそろ、年齢的に後半疲れないカーボンシャフトが欲しくて、家内に内緒でPay Payで買って、勤務先の病院へ宅配してもらったCallaway Rogue STMAX Fastアイアンを初めて手にして満を持してのラウンド。

この日は、アウトスタートでTさんとT先生との3人のラウンドで、T先生だけバックティー。Tさんはどうしても青島ゴルフ倶楽部のグランドマンズリーに出たいみたいで、私と同じレギュラーティー。Tさんとはよく回るんですが、T先生とは、面識はあっても、お互い確認しあったら、どうやら初めてのようでした。T先生はご近所さんと分かり、ラウンド後に家内に聞いたら、娘たちが同学年で友達だったようですが、ラウンド中は終始「寒い、寒い」と言われていました。出だしはパーで何だか今日はいけそうな気がしていたら、自分が上手いと思われたのか下手と思われたのかはわかりませんが、T先生から「ハンデはいくつですか?」と聞かれ、調子に乗っていたら、その後は苦手なバンカーに苦しみ、前半53の大叩き。

昼飯は、16年前食道胃接合部がんで胃噴門部を取って以来胸焼けがして普段は全く食べない辛麺を、気合いを入れるつもりで初めて食べました。辛麺効果か、午後からも出だしはまたもパーで、今度こそは行けそうな予感がした途端、

またしても11番ロングのバンカーに捕まり痛恨の9。気持ちを入れ換えて12番は何かかボギー。

迎えた、右が池の最近比較的相性のいい13番ショート。風は8時方向からのややサイドフォローでピンは2段グリーン手前の傾斜に切ってあって、ピンまでの距離は159ヤード。打順は1番だったので、トイレで長い方をササッと済ませるつもりでしたが、このホールで2年前ホールインワンした後続のU先生に、「そろそろ運がつくころですよ」と言わんばかりにトイレのドアをノックされ、手洗いもそこそこに、F先生夫妻にもギャラリーされながらの緊張するティーショット。新たに手にした6番アイアンと悩んだあげく、レイクサイドの開場記念杯3位に入賞したときの景品、25度のブリヂストンハイブリッドを持って、「風があるし軽めに打ってピン手前のエッジでもいいや」と思って打ちました。

自分はドライバー以外のウッド系は少々自信がありますが、ピン右手前を狙った打球はイメージとは逆のピン左方向。私は風に喧嘩を売ったつもりはなかったけど、風の方が喧嘩してくれたいみたいで、思ったより左に行かず、ピン左横3メートル位の右傾斜のあるグリーンにNice On。「何とか乗ってくれた」と安堵していたら、ゴルフパートナーの安売りで買ったブリヂストンツアー-B XSの、普段は使わない初めての黄色いボールが、静止していた着弾地点から、

風に吹かれたのか、ゆっくりゆっくりと下り傾斜を動き始め、ピンに近づくではありませんか！ Tさんが、「あ、入る」って叫んで、吸い寄せられるようにゆっくりと動くボールを6人みんなで見届けていたら、ジャストで、カップイン！まるでスローモーションを見ているかのようなスピードで、その間5秒くらいあったでしょう。吸い込まれるように、ボールがカップに沈むのを目の当たりにして、あまりにも突然でまさかの出来事に一瞬呆然としていましたが、何かこの初めての喜びを体で表現しないといけないと思い、とりあえずクラブを宙に投げました。

後ろを振り返ったら、T先生が早速クラブハウスに電話してくれていて、F先生の奥様も拍手してくれていました。Tさんは、すかさず、「先生、保険はなんぼのに入ってる？」と聞いてきました。「50?70?このあいだ更新して70にしたはずや」と答えて、にやにやしなながらカートで移動し、パターを持たずにグリーンに上がり、カップインしたボールを拾い上げ早速記念撮影。その一部始終をティーランドからU先生が動画で撮ってくれていたのはいいけれど、当然音声はU先生の「年賀状用に！」と言う声だけでした。

何があったかを受け入れる余裕もないまま、高揚感と達成感に浸る間もなく、次の14番ミドルホールへ。当然、またしても打順は1番で、浮つく気持ちを抑えながら、今度は得意のStealth 5FWでティーショット。その2打目もその次の15番ショートも何かショットでいきなり入りそうな気がして、それまでの気持ちとは裏腹に恐怖感にも似た緊張感のMAX状態。

カートで移動中、同伴の二人には「遊んでお金がもらえるなんて最高！何買おうかな？パター買って僕あまり使わんもん（笑）」と

冗談言いながら、あれよあれよと迎えた最終ホール。その日は、前半の不調が響き、上がりの18番でトリ叩いたら100だったので、「ホールインワンしても100」はあまりにも格好悪いし、兎に角100は切りたいと思っていたら、何とかダボで上がって、ギリセーフの99。結局、終わってみたらいつもと一緒のスコアでした（笑）。

クラブハウスに戻ったら、スターターからも祝福されて、スコアカードとホールインワンの証明をもらって確認したら、スコアカードには今までに見たこともない、数字の1！寒かったけど非常に熱かった一日でした。

帰って家内に報告したら、「お父さんは2回がんを克服しても、まだ強運持っているんやね、少しは他の人に分けてやったら？本当、保険成金やわ」と言われました。その夜は、興奮冷めやらぬまま、何かふわふわした落ち着いた気持ちで娘たちと買い物に行き、「今日の買い物は保険が出るかも」と言いながらマックポテトまで全て領収もらう始末（笑）。

次の日、早速保険会社に電話したら、疑われることなく、「この度は誠にめでとうございます」と丁寧に対応され、加えてゴルフパートナーの店員や練習場の人にも、報告したら、素直に祝福してくれて、皆いい人！今回のホールインワンは自身初めての経験でしたが、初めてのクラブ、初めての同伴者、初めての辛麺、初めてのボールと、初めてづくしだったからこそ体験できたあまりにも偶然過ぎる「その日の出来事」だったような気がします。そして、何だか不思議なものでホールインワンしたら、人に優しくなれるし、周りの人も皆、善人に見えます。皆さんに感謝です。有り難うございました。

## 随 筆

## 真夏に植えた庭の花壇

宮崎市 とも なり ひさ お  
友 成 久 雄

体調不良などで遅れたが、8月の下旬、ほとんど枯れた花壇を植え替えることにした。これまで夏の花を植えたことはほとんどなかった。昨年、今年と正月に花を植えてみて、寒さは意外にきつくなかった。暑さの方が耐えがたく思われ、ひどく億劫だった。80歳過ぎまでやってきたゴルフでは夏の暑さは苦にならず、炎天下でも面白かった。ラウンドの数日前には必ず打ちっ放しに行って練習もやっていた。同じく好きなことでも、スポーツとガーデニングでは運動と感情の領域、つまり動と静で快感や楽しさが違っていた。

ところで、花壇の準備ができてホームセンターに行くと、キクの新品種らしい苗が目飛び込んできた。丈が低くて矮性と思われるが、花は大きく八重である。4色あったのを2本ずつ8本も買ってしまった（後で4本でよかったのにと後悔した）。茎が根元から3本ずつ伸びていて、頭頂に花や蕾が幾つも集まっている。これらの形態が普通のキクとは違っていて、興味を引かれた。名札を見るとクリサンセマムとあり、「商標を申請中」と、注意書きがあった。作出されて間もない新品種で、作者の許可を得ずに売買はできないということだ。

夏の花としてはポピュラーなセンニチコウ（千日紅）と百日草がある。後者の正式な名前がジニアだとは知らなかった。キク科で、5月から11月までと長期間花をつける。花茎は5～

12cmと長く、ダリア咲きやぼんぼん咲きなどがあるという。丈も30～50cmと大柄である。センニチコウはヒユ科の1年草で、熱帯アメリカ産、高さは50cmに達するという。花は花弁を欠き、2枚の包葉が紫紅色となり退色せず、長期間色を保つので、千日紅の名があるのだという。その色が長く変わらないのはケイ酸が多いからだとされている。これらの大柄の2種がなんと11月まで花をつけていて、花壇の中心花になっていた。

今夏の花の中で私が最も美しいと思ったのは、3本植えたアングロニカである。草姿が円錐形で、花は小さくて目立たないが紫青色の花が茎から横向きに数多く付いている。私には姿形が斬新なデザインだなと思った。南米、西インド原産で、暑さに強いという。丈は50cm～1mとあり、私が植えたのは20cm余りだったから矮性だろう。これには品種がなく、個体差で花の色が異なり、紫青色、白色などがある。

ケイトウも久しぶりだった。ヒユ科の1年草で、花の色が鮮やかで花房が大きい。草丈に20cm～1mと高低があり、また品種が多いという。名はギリシア語の「燃焼」に由来しているが、花色や花形から連想されたものと分かる。だが、花言葉は「おしゃれな恋」で、花の印象からは想像しがたい。

かなり久しぶりに植えたコリウスは花より葉色を楽しむ草花だから、花は付き次第摘み取る

のがよいという。すると花茎が伸び、葉も増えるから。シソ科の1年草，多年草で，花期は6～10月と長い。花言葉はケイトウと対照的な「恋の終わり」となっている。

色トウガラシ（マジカルペッパー）は見るのも植えるのも初めてだった。白い花が咲いた後，白い球形の実が付くが，それからさまざまなカラフルな色に変わるというから面白い。最後は赤色になるのだが，苗にはすでに赤色や白色，ピンクなどの実が混在していた。観賞用だけれど，実は十分な辛味があるので，触った後に絶対に目を擦らないようにと，名札に注意書きがあった。今回植えた花の中ではもっとも長期間，12月半ばまで楽しめたが，その後赤色の実にはしわが目立ってきた。白の実はまだきれいだったが，多年草でも地上部はいずれなくなるので，抜去しないわけにはいかなかった。

今回もっとも珍しく，感動したのはホウキ草だった。丸っこい竹箒のような姿形で，黄緑の極細の枝が束になっている。30cm位の丈だが，どんな花が咲くのだろうか。最も似た姿形は時々花壇に植えられるゴールドクレストだが，それは草花ではなく樹木である。独特の草姿はシンプルで，カラーも一色なのに，何故か見飽きなかった。白い花が無数に付いたが，極小で目立たず，また短期間で消失した。草花全体の寿命も短い方だった。今回は2本並べて植えたが，来年はもっと多数，そしてシロタエギクのように1本ずつ離して植えてみようと思った。

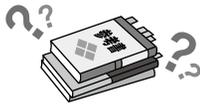
今回思いがけない自然現象を経験した。花壇を植え終わってしばらくして気づいたのだが，縁石の直ぐ外に1本のオジギソウ（眠り草）が生育していた。数年前のこぼれ種が発芽したのだ。以前花壇の内に植えたときに比べて丈や分枝が細く短く，花も小さかった。本来の花期は6～8月というから発芽が遅かったのと，肥料

を施していない場所だったせいだろう。しかし，風や接触で葉が閉じる特異な機能(?)は保たれていた。それだけでなく，夕方は早くから葉が閉じる特性があることにも初めて気がついた。

今回の花植で分かったのは，夏の花は花期が長く，多くが晩秋まで咲き，初冬まで咲くものもあることだった。体調の関係で花を植えるのが真夏になったが，実行を決断するまでの強い億劫は，私の癖でもある一種の取り越し苦労で，作業を始めると熱中して酷暑も極寒も苦にならない。やはり花が好きだからだろうか。

今回植えた夏の花は全部で100本近く，30余りの種類に上った。一昨年花壇を拡張したので，以前より4割ぐらい増えている。私はこれまでミニ花壇と言っていたが，ミニは取ってもいいかなと思う。

60代後半に始めたガーデニングだったが，熱中してやがて私の趣味になり，20年が経つ。退職後は家に籠もりがちな生活で，ガーデニングは体を動かすほとんど唯一の活動であり，年3回の花壇の植え替えは軽度の運動にもなっている。そういう効用はあるけれど，私が花を愛し育てる真の理由は何か。白幡洋三郎氏（京都大学名誉教授）は，人が花を愛するのは「花を美しいと思う気持ちからだ」と，その共著書（「人はなぜ花を植えるのか」八坂書房2007）の中で結論的に述べている。それは文化的，後天的な美意識であり，個々人の生活の余裕や社会の余裕があって生まれる美意識であるという。私はこれまで考えたことのないテーマだったが，白幡氏の説明をなんとか理解し納得できた。



## あなたできますか？

—令和3年度 医師国家試験問題より—

(解答は60ページ)

- 痛みを主訴に受診するのはどれか。
  - 子宮前屈
  - 子宮腔癒着
  - 子宮腔部びらん
  - バルトリン腺炎
  - 子宮頸管ポリープ
- 我が国における近年の疾病や疾病リスクについて正しいのはどれか。
  - 脳血管疾患の患者数は年々増加している。
  - 過剰飲酒の割合は男性低所得層で最も高い。
  - 悪性新生物（全部位）年齢階級別死亡率は60代で増加傾向が見られる。
  - 40歳未満女性の部位別悪性新生物では子宮頸がんが最も罹患率が高い。
  - 糖尿病罹患は遺伝や生活習慣が主要要因で、社会的環境の関与は少ない。
- 骨盤腔に及ぶ脾腫がみられる頻度が高いのはどれか。2つ選べ。
  - 多発性骨髄腫
  - 原発性骨髄線維症
  - 急性骨髄性白血病
  - 慢性骨髄性白血病
  - 急性リンパ性白血病
- 労働安全衛生法に規定される健康の保持増進のための措置について誤りはどれか。
  - うつ病や自殺の予防が目的に含まれる。
  - 適用となるのは常時50人以上の事業場である。
  - 脳血管・心臓疾患のリスク管理として重要である。
  - 時間外労働が月80時間超の労働者は希望により面接指導が受けられる。
  - 事業者は過重労働者に対し医師による面接指導の実施が義務づけられている。
- トリグリセリド高値の原因とならないのはどれか。
  - 先端巨大症
  - 内臓脂肪蓄積
  - アルコール多飲
  - 甲状腺機能亢進症
  - インスリン抵抗性増加
- 視野異常と疾患の組合せで誤っているのはどれか。
  - Bjerrum暗点 —— 緑内障
  - 盲中心暗点 —— 視神経炎
  - 両耳側半盲 —— 下垂体腺腫
  - 水平半盲 —— 加齢黄斑変性
  - 輪状暗点 —— 網膜色素変性
- 職場の自殺予防対策に関係しない職種・組織はどれか。
  - 産業医
  - 衛生管理者
  - 産業保健師
  - 産業保健推進センター
  - 精神保健福祉センター
- 転移性卵巣腫瘍の原発巣で頻度が高いのはどれか。2つ選べ。
  - 肺癌
  - 胃癌
  - 大腸癌
  - 膀胱癌
  - 甲状腺癌
- 23歳の男性。咽頭痛、嘔吐および下痢を主訴に来院した。半年前から不特定多数の異性との性交渉を繰り返していた。2週間前から間欠的に39℃台の発熱があり、2週間前から咽頭痛が出現した。2日前から嘔吐と下痢も加わり持続するため受診した。身体所見では明らかな異常を認めなかったが、血液検査においてHIV抗原・抗体同時スクリーニング検査が陽性であった。HIV感染の確定に必要な検査はどれか。2つ選べ。
  - 咽頭培養
  - 血液培養
  - 血中HIV RNA 定量検査
  - CD4陽性Tリンパ球数測定
  - Western blot法による抗HIV抗体測定
- 59歳の女性。歩行障害を主訴に来院した。半年前から立ちくらみとともに歩行時にふらついて、よく壁にぶつかるようになった。同時期から頑固な便秘を自覚し、尿失禁もみられるようになった。歩行障害は徐々に悪化し、1週間前には転倒した。最近では箸も使いにくくなった。既往歴、家族歴に特記すべきことはない。仰臥位での血圧は110/70mmHg、脈拍60/分であり、起立2分後の血圧は80/60mmHg、脈拍62/分であった。心音と呼吸音に異常を認めない。胸腹部には異常を認めない。神経診察では構音障害を認める。上肢では鼻指鼻試験で両側の測定障害がみられ、回内回外試験では変換運動障害も認める。四肢には両側とも同程度の筋強剛を認めるが振戦はみられない。歩行時には体幹動揺を認める。考えられる疾患はどれか。
  - Parkinson病
  - 多系統萎縮症
  - Huntington病
  - 筋萎縮性側索硬化症
  - 大脳皮質基底核変性症

# エコー・リレー

(571回)

(南から北へ北から南へ)

## 病床にて

宮崎市 アイ内科クリニック かわ の あつ こ  
河 野 敦 子



昨年4月1日に佐土原町で開業させていただきました。河野敦子です。

皆様に正式ご挨拶も差し上げないまま、今回は神宮内科医院田中先生のケーキに誘われて投稿させていただきました。ケーキ美味しかったです。

実は昨年末、不覚にもCOVID-19に感染してしまいました。39度台発熱と倦怠感で2日間ほど食事摂れず、自室にこもっていたのですが、オンラインで仕事が可能となっている現在、師長から容赦なく、「患者さんで～す(嬉しそうに間延びしている)」のcallが入り、遠隔で診療していました。不幸な世の中になったものです。

診療の合間にベッドで休んでいると、飼い猫がずっと枕元に付き添ってくれていました。右を向いても猫、左を向いても猫、といった猫好きには恵まれた状況だったのですが、「なぜ猫は病気の主人に付き添っているか?」をスマホで検索したら、「主人を気遣っている」とか、「主人のにおいで安心している」などの殊勝な理由の最後に「死んだら食べようと思っている」という項目を見つけました。私を食うつもりだったのか…。食われると思ったので、翌々日には解熱。食欲も復活し、残念ながら体重もすぐさま戻りました。

皆様、枕元のペットにはくれぐれもお気を付けてくださいませ。

[次回は、宮崎市の山脇 清一先生をお願いします]

## バイクに乗る人生

都城市 もりぞの耳鼻咽喉科 もり その けん すけ  
森 園 健 介



私が幼いころはバイク＝不良というイメージがあったが、同時に漠然とした憧れも持っていた。

その後40歳過ぎまで独身を貫いていたことから一人でも楽しめる趣味を持ちたいと不意に思い立ち、一念発起して中型免許を取ることに決めた。幼少時には自転車で転んで骨折したりした私ではあったが幸い大きなトラブルもなく、卒業試験は一発合格とはならなかったが無事中型免許を取得することができた。

早速購入したバイクは憧れていたアメリカン。ハーレーダビッドソンとはいかなかったが、それでもバイクに乗って走るのはサイコーであった。これまで走ってきた道の景色がまるで違って見える。なによりダイレクトに操って走っている感が車とはまったくの別物であった。

1年後には大型免許も取得したが、人生の予定になかった結婚というイベントが生じ、遠乗りも困難になったため小型バイクに乗り換えた。更に開業して暇もなくなり、今ではそのバイクもお店に預かってもらったままだ。

バイクは危険も伴うし、天候にも左右される。荷物もさほど積めないし、乗っていると疲れる。なによりここまで書いた内容を見てわかるように、私は全くバイクに詳しくもなく、歴も浅い。こんな人間がバイクについて書いたのは正直馬鹿げているとも思う。それでもあえて言おう。人生は大きく分けて2つある、バイクに乗る人生と乗らない人生だ。いつかまたバイクに乗る人生を夢見て、今は仕事に精を出そう。

バイクは危険も伴うし、天候にも左右される。荷物もさほど積めないし、乗っていると疲れる。なによりここまで書いた内容を見てわかるように、私は全くバイクに詳しくもなく、歴も浅い。こんな人間がバイクについて書いたのは正直馬鹿げているとも思う。それでもあえて言おう。人生は大きく分けて2つある、バイクに乗る人生と乗らない人生だ。いつかまたバイクに乗る人生を夢見て、今は仕事に精を出そう。

[次回は、宮崎市の三好 良英先生をお願いします]

## メディアの目



## 「数字」に含まれている努力

宮崎日日新聞社 報道部長

なか がわ み か  
中 川 美 香

私が医療と最も結び付いた時期は、双子出産前の管理入院中と、産後、新生児集中治療室(NICU)に通っていた頃だ。2003年、県政担当として統一地方選報道を終えてすぐのこと。

その後の育児の話を含め、経験や出会いを基に書いたのが連載「ハロー!! ベイビーズ 双子育児で見えたもの」だった。2005年4月から週1回、約2年半続けた。ありがたいことに読者から500通を超えるお便りをいただき、書籍化して15年たつ今も「共感しながら読んでいた」「私の育児もハロベビ世代」「双子ちゃん、今何歳？」などと声をかけられる。取材に協力してくれた親たちや医療関係者に感謝している。

管理入院した宮崎大学医学部附属病院産婦人科では、さまざまな状況の妊婦に出会った。切迫早産、双胎間輸血症候群、胎児の腎臓病や心臓病…。妊娠22週に入る頃に子宮口が開いて緊急搬送され、腰を高い位置に保てるようベッドを傾けた「骨盤高位」の姿勢で9日間過ごした妊婦もいた。自分が患者の1人になるまで、お産にこんな現実があることを知らなかった。

「合計特殊出生率 最低1・32」。当時、新聞各紙には少子化や人口減に関する企画が増えてきていた。「1・〇×ショック」など衝撃的な伝え方が多く、なぜ女性が産まなくなっているのかに焦点が当てられていた記憶がある。

ただ、私は病棟やNICUで過ごすうち、「1・32」という数字をいとおしく感じるように

なっていた。小さな命を守ろうとつらい治療にも耐える親たち。母子を救おうと最善を尽くす医療者たち。その努力、愛情、情熱が、数字に含まれていると気付いたからだ。それ以来、各種データを見るたびに、その背景にあるぎりぎりの闘いを想像できるようになった。

ところで、ペンとノートを持って病室を巡るパジャマ姿の妊婦を見逃してくれていたのが、産婦人科教授だった池ノ上克さんだ(その後、病院長を経て大学学長を務められた)。

回診の合間に語ってくれた話が忘れられない。「周産期死亡率は文化のバロメーターなんだ」「福祉や医療は道路や橋を造るより目に見えにくいもの。非生産的に見える分野はいつも後回しにされてきた。政治が成熟してこそ光の当たらない部分に配慮が進んでいく」。医療の「地域化」などを進めたことで、全国ワーストだった本県の周産期死亡率をトップレベルにまで改善させたリーダーの言葉には重みがあった。

この春、4年に1度の統一地方選がまた巡ってくる。命を最優先に考える政治はなされているだろうか。医療・福祉体制は十分か。安心して産み育てられる環境の構築は。地域を再点検し、前進させる機会にしたい。

告示が迫ってきたら私はまた、おなかに双子がいたころの感覚をリアルに思い出すのだろう。陣営取材の最中、ぐるぐる動いていた。政治好きに育った2人。今年20歳になる。

## 身近なお困りごと相談室

本コーナーでは、「医療機関での身近な疑問や質問」について、各分野の専門家が回答いたします。

### 第18回 医師の救急搬送の同乗について



Q.

患者の急変や急病等で高次医療機関への救急搬送をお願いすることがありますが、その際に救急隊から医師や看護師の同乗を求められることがあります。同乗する場合、その間、1時間以上、診療を制限せざるを得ませんし、帰りの交通費なども（患者側に請求することは法的には可能なようですが低所得の方などもおられ）現実的には医院持ち出しとなります。そもそも騒音のなか、狭く、揺れる車内のできることはほとんどありませんし、心肺蘇生などもむしろ救急隊の方が手慣れていると思われ、同乗することで予後が改善することは皆無かと思われ（何かあったときの救急隊の免罪符的な役割はあるのかもしれませんが）。こちらが必要と考えて同乗する場合ならともかく、そうでないと思われる場合、断ってもいいものなのでしょうか？

まず、救急隊員が医師に同乗を求める理由は、厚生労働省及び消防庁が各都道府県宛に出している「転院搬送における救急車の適正利用の推進について」という内部規定中に、以下の定めがあるからです。

「要請元医療機関が、その管理と責任の下で搬送を行うため、原則として要請元医療機関の医師又は看護師が同乗すること。同乗できない場合は、救急隊のみで搬送することについて、要請元医療機関が患者、家族等に説明し、了承を得ること。」

つまり、原則として救急隊のみでの転院搬送は行わず、要請元医療機関の医師または看護師の同乗をお願いするよう定まっているために、救急隊員は医師の同乗を要請します。ただし、当該規定は単なる行政内部の規定に過ぎず、医師を拘束する規定ではありません。そのため、搬送元医療機関の医師が同乗は不要と判断した場合にまで、同乗を強制されるものではありません。もっとも、万が一患者の容体に急変があった場合、医師が同乗しなかったことを捉えて医療過誤と指摘されるリスクも考えられます。そのため、円滑な転院搬送とリスク防止を考慮すれば、同乗拒否は慎重に考えなければいけません。

最後に、医師が救急搬送に同乗した場合、「C004 救急搬送診療料1300点」、これが30分を超える場合には「長時間加算700点」などの加算があるとはいえ、同乗する医師が受ける時間的・場所的負担は重く、帰る手段がない状態さえあります。このような医師の過酷な負担に対するサポート（交通手段の確保や交通費の支給など）は、社会の医療体制を守っていくためにも急務であると感じます。

（回答 弁護士法人きさらぎ 弁護士 高山 桂）

A.



### <医療機関での身近な疑問、質問をお寄せください>

- 文字数：200字以内
- 質問はメール（genko@miyazaki.med.or.jp）、FAX、郵送などでお送りください。  
※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

## 宮崎県感染症発生動向 ～1月～

令和5年1月2日～令和5年1月29日（第1週～第4週）

### ■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核11例（男性4例・女性7例）：保健所別報告数は【図1】、病型別報告数は【表1】、年齢別報告数は【表2】のとおりであった。

3類：報告なし。

4類：○つつが虫病5例：小林，高鍋（各2例），都城（1例）保健所から報告があった。年齢は80歳代が3例，60歳代と70歳代が各1例であった。主な症状として頭痛，発熱，刺し口，リンパ節腫脹，発疹等がみられた。

5類：○クロイツフェルト・ヤコブ病1例：都城保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，病型は古典型クロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）であった。診断の確実度は，ほぼ確実に，主な症状として進行性認知症，ミオクローヌス，錐体路症状，錐体外路症状，無動性無言状態，記憶障害，精神・知能障害，筋強剛がみられた。

○侵襲性肺炎球菌感染症2例：都城保健所管内から報告があった。年齢は70歳代と80歳代で，主な症状として発熱，意識障害，肺炎，菌血症がみられた。ワクチン接種歴はいずれも不明であった。

○梅毒9例（男性6例・女性3例）：宮崎市（7例），都城，延岡（各1例）保健所管内から報告があった。年齢は20歳代が4例，30歳代と40歳代が各2例，50歳代が1例であった。病型は早期顕症梅毒Ⅰ期が6例，早期顕症梅毒Ⅱ期が2例，無症状病原体保有者が1例であった。主な症状として初期硬結，硬性下疳，鼠径部リンパ節腫脹，梅毒性バラ疹，丘疹性梅毒疹，扁平コンジローマがみられた。

○百日咳1例：日向保健所管内から報告があった。年齢は0～4歳の女性で，主な症状として持続する咳，夜間の咳き込みがみられた。ワクチン接種歴はなかった。

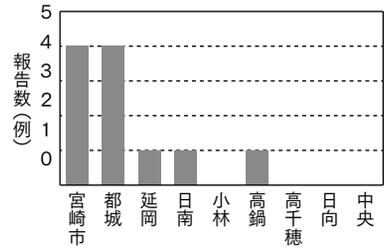


図1 結核 保健所別報告数(例)

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	5
その他の結核（粟粒結核）	1
無症状病原体保有者	5

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
40歳代	2
50歳代	1
70歳代	1
80歳代	4
90歳代	3

### ■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は5,169人（定点あたり108.5）で，前月の231%，例年の112%であった。

前月に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ，感染性胃腸炎及び流行性耳下腺炎で，減少した主な疾患はRSウイルス感染症，水痘及び手足口病であった。また，例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はインフルエンザ，ヘルパンギーナ及び流行性耳下腺炎であった。

インフルエンザの報告数は3,578人（62.8）で前月の約13.7倍，例年の約2.0倍であった。延岡（104.4），宮崎市（69.1），日向（57.5）

### ■病原体検出情報（微生物部）

		検出病原体	件
細菌		EPEC（OUT:HUT）	1
		EPEC（O103:H7）	1
		EPEC（OUT:H45）	1
		EPEC（OUT:H51）	1
		EPEC（OUT:H2）	1

保健所からの報告が多く、10歳未満が全体の約半数を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は1,315人（36.5）で前月の約1.5倍、例年と同程度であった。中央（62.0）、宮崎市（47.8）、小林（47.7）保健所からの報告が多く、1歳から4歳が全体の約6割を占めた。

### ■月報告対象疾患の発生動向〈2023年1月〉

#### □性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は24人（1.9）で、前月比67%と減少した。また、昨年1月（2.5）の約0.7倍であった。

#### 《疾患別》

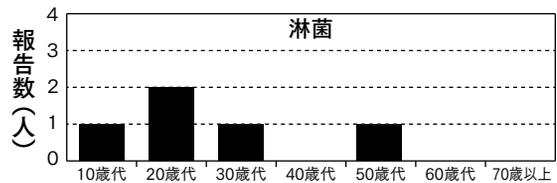
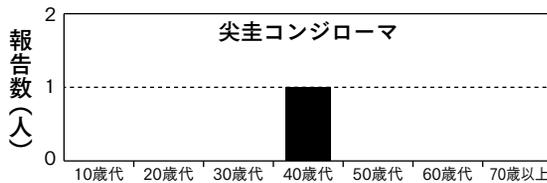
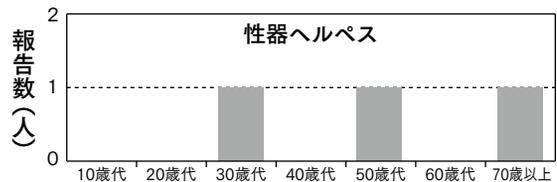
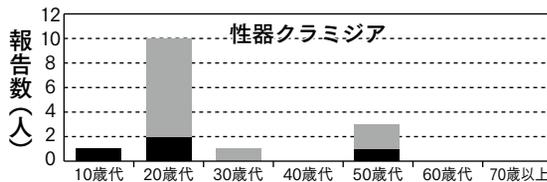
○性器クラミジア感染症：報告数15人（1.2）で、前月及び昨年1月の約0.8倍であった。

20歳代が全体の約7割を占めた。（男性4人・女性11人）

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数3人（0.23）で、前月の0.4倍、昨年1月の約0.8倍であった。（女性3人）

○尖圭コンジローマ：報告数1人（0.08）で、前月の約0.3倍であった。（男性1人、昨年報告なし）

○淋菌感染症：報告数5人（0.38）で、前月の約0.7倍、昨年1月の0.5倍であった。（男性5人）



■男 ■女

#### □薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は23人（3.3）で、前月比100%と同率であった。また、昨年1月（3.9）の約0.9倍であった。

#### 《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数23人（3.3）で、前月と同率、昨年1月の約0.9倍であった。70歳以上が全体の約7割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

#### 前月との比較

	2023年1月		2022年12月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	3,578	62.8	266	4.6	★
RSウイルス感染症	42	1.2	97	2.7	
咽頭結膜熱	45	1.3	57	1.6	
※溶レン菌咽頭炎	39	1.1	48	1.3	
感染性胃腸炎	1,315	36.5	882	24.5	
水痘	12	0.3	22	0.6	
手足口病	22	0.6	141	3.9	
伝染性紅斑	0	0.0	2	0.1	
突発性発しん	56	1.6	78	2.2	
ヘルパンギーナ	39	1.1	45	1.3	★
流行性耳下腺炎	10	0.3	6	0.2	★
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	11	1.8	25	4.2	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	

★例年同時期（過去3年の平均）より報告数が多い  
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

## 各郡市医師会だより

### 西 諸 医 師 会

西諸医師会では2022年6月の定期総会にて新たに、楠元規生先生と杉原純次先生に役員に加わっていただき内村大介会長体制4期目となっています。国内で新型コロナウイルス感染症患者が初めて確認されて3年が経過しましたが、西諸管内では、これまで同様に各医療機関でのワクチン個別接種を実施しています。後遺症に対するケアは不十分な状況です。ポストコロナ・ウィズコロナ社会への道筋を作る重要な局面を迎えています。2021年4月から設立された小林市立病院の災害医療・救急医療支援講座は順調に運営されています。しかし、同院の内科常勤医は不在のままであり外科・救急専門医の先生方が内科入院患者に対応していただいております。約10年後には入院診療機能を失う危機にあり行政にはなんとか西諸の医療体制維持に更なる尽力を求めたいと考えています。また、2022年11月には医療従事者や子ども、女性、高齢者を犯罪から守ろうと小林警察署と西諸医師会が県内初の防犯連携協定を締結しました。本協定は全国で発生している医療従事者が狙われる事件、社会問題となっている児童虐待やうそ電話詐欺等を未然に防ぐため犯罪や不審者に関する情報を共有する体制を構築することにより安全で安心して暮らせる地域社会の実現を目的としています。残念ですが昭和34年に開校した西諸医師会が運営する小林准看護学校は近年の少子化にともない入学生減少と講師や実施施設確保困難を理由に2023年3月末に閉校します。これまでに2,230人を地元の病院などに送り出してきました。また、昭和48年に建設された小林准看護学校兼西諸医師会館も築49年となり老朽化が進み3月の小林准看護学校閉校後は解体および新会館建築に向けて本会員の先生方のご意見を賜りながら検討を進めて参りたいと考えております。働き方改革のため2024年4月からは医師の時間外労働規制も開始予定でありこれからも医師会員で力を合わせて、まずはCOVID-19が終息の日を迎え、以前の生活に戻れることを願っております。

(吉村 雄樹)

### 宮 崎 市 郡 医 師 会

宮崎市郡医師会病院では各診療科や看護科等で臨床研究が行われています。昨年4月に施行された国の個人情報保護法に基づき、臨床研究の新指針が示され、倫理的に研究が妥当かどうかの基準が強化され、現場に大きな混乱が生じました。一般病院での臨床研究を想定していないのではないかと感じました。当病院倫理委員会では真摯に議論し、医療安全や診療の質の向上に値する研究を承認しています。自分たちの診療内容を評価検討し、改善に向けたさまざまな取組みを行うために今後も臨床研究を支援していきたいと思っております。

(市来 能成)

### 都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

年末年始は夜間急病センターが第8波により発熱患者さんであふれ、職員にかなりの負荷がかかっていましたが、少し落ち着きつつあるようです。コロナ禍前までは理事会終了後はほぼ毎回、みんなで牟田町に繰り出していましたが、この3年はほとんどなくなり寂しい限りです。第8波が収まり、分類が5類に変更されればまた再開できるのではないかと期待しているところです。

(森山 拓造)

### 延 岡 市 医 師 会

この原稿を書いているまさに本日、コロナ感染症の5類への移行が5月8日になることが決定されました。3年の時を経て、ようやく隔離、検査の日々から通常診療へと舵がきられま

す。延岡市医師会ではコロナ対策以外にも、消化管出血輪番制の継続、脳血管疾患輪番制の継続、看護学校の全日制への移行、電子カルテ導入、2025年問題、医師の働き方改革にともなう当直医師の問題などなど、検討事項が山積みで、そちらの検討事項へ注力できる日も近いと信じております。

(竹原 俊幸)

## 日向市東臼杵郡医師会

昨年暮れから急拡大する新型コロナウイルス感染症に対し、県から年末年始6日間の発熱外来に対する協力要請を受けた。日向入郷医療圏では計24医療機関、延べ49医療機関から応援をいただき無事に年が明けた。しかしながら正月明けには感染者数が全国的にピークを迎え、数週間にわたり医療提供体制が逼迫した。コロナ感染症患者を入院させる医療機関も病床使用率が高止まりした。安心して患者を受入れるためにも、また病状悪化時には高次の医療機関へ転院できるよう指定医療機関間でのリアルタイムでの情報共有ができればと思う。

(千代反田 晋)

## 児 湯 医 師 会

児湯医師会の自賠責保険労災保険担当理事を仰せつかっています。基本的には、被害にあわれた患者さんの診療を円滑に進めるために損保会社との間に入ることが多く、近年は自動車の対衝突安全デバイスの標準装備が一層進んで交通事故件数および犠牲者数は大きく減少しています。にもかかわらず、時に損保側の患者（被害者）への理不尽な対応（一方的な診療費支払いの打ち切り、それにとまなう心ない言動など）に対して、速やかに改善を図るように日々努めております。

(山口 政一朗)

## 西都市西児湯医師会

行動制限が緩和され、1月には西都原でエンデュロ2023が3年ぶりに開かれ200名以上の参加者が西都原を疾走しました。しかしながら新型コロナウイルス感染の終息は見えそうにありません。

そこで当医師会では、西都独自の医療介護連携システム作りを目指して2月20日に「西都市でのICTを活用した医療介護連携の報告-Medical Care STATION-」を行いました。上手く活用できるとコロナ禍でも潤滑な連携ができるものと思われまます。3月16日に在宅スキルアップ研修があります。講師に都農町国民健康保険病院長 桐ヶ谷大淳 先生をお招きし「地域まるごとケア 在宅医療という選択肢」の演題で開催予定です。ご参加いただける方はよろしくお願ひします。

(上山 裕史)

## 南 那 珂 医 師 会

当医師会でもここ1年近くで4医療機関の閉鎖及び退任がありました。これまでともに地域医療に奮迅され学校医活動にも積極的に参加されており、寂しさより無念を感じえません。2/1までの新規開業は現時点で医師会に報告はありません。当地域では各医療機関、頑張って対応していただけていますが耳鼻咽喉科、皮膚科、小児科、眼科、外科含む（ほとんどすべてです）医療機関が不足しています。3月に日南まで九州自動車道開通予定であり、開業をお考えの先生方は日南地域での起業もご考慮いただければ幸いです。

(河野 秀一)

## 西 臼 杵 郡 医 師 会

木々の花芽や日の長さに春の訪れを感じることができるようになりました。今冬は、コロナ第8波、インフルエンザの同時流行、また数年に一度という寒波の到来と厳しい日々が続きました。西臼杵地区でも高齢者施設、家庭内感染が多くみられ緊張を強いられました。現在は少し落ち着いてきており、イベントやスポーツ大会なども徐々にコロナ前の状態に戻りつつあります。5月8日にはコロナも第5類に引き下げ予定となり、これからますます人の活動も多くなっていくことと思います。ただ一人ひとりが自覚をもって感染対策には気を付けていきたいものです。

(古賀 志朗)

## 国公立病院だより

### 国立病院機構都城医療センター



よしずみ ひでゆき  
吉住 秀之 院長

#### 1. 当院の診療体制の特徴

当院は全国に140病院を有する独立行政法人国立病院機構の一つです。歴史をさかのぼると明治42年に創設された都城衛成病院に始まり、昭和20年に国立都城病院となり、

その後平成16年に独立行政法人に移行しています。

病院機能としては、平成17年に地域がん診療連携拠点病院に指定、平成20年に地域周産期母子医療センターに認定され、平成21年には地域医療支援病院の承認を受けています。平成30年から急性期病棟1棟を地域包括ケア病棟（通称「在宅サポート病棟」）へ機能転換を行い、現在に至ります。

構造としては、平成20年より病棟の全面改築を行い、5階建て病床数307症（うちNICU6床、GCU12床）となり、平成28年には外来診療棟ならびに管理棟、リハビリテーション棟の新築が終了し、現在に至ります。

「高度で良質な医療を提供し、病む人が安心し、信頼できる病院をめざします」という基本理念のもとに日々診療を行い、都城市の他、小林市や鹿児島県曽於市や志布志市など広い二次医療圏からの紹介を受けています。宮崎県の南西部の熊本・鹿児島両県の県境に位置し、宮崎大学病院、熊本大学病院、鹿児島大学病院から各分野の専門医を派遣していただき、切磋琢磨しあって診療にあたっているのも特徴です。

地域がん診療連携拠点病院として、泌尿器、消化器、呼吸器、頭頸部、口腔舌、婦人科、血

液などの幅広いがんに対して、手術療法、化学療法、放射線療法を各診療科が協力して行っており、循環器系、糖尿病代謝系、神経系疾患について内科がサポートする体制です。また地域周産期母子医療センターとして、かかりつけの産婦人科医療機関と胎児心拍数モニタリングなどの情報をリアルタイムで把握しながら周産期医療に24時間対応していることも特筆すべきことです。整形外科ではリウマチ性疾患や高齢者を中心とした運動器疾患や骨折の診療を行っています。令和3年度の麻酔導入件数は1263件、手術件数は、泌尿器科419件、外科216件、婦人科212件、耳鼻咽喉科191件、産科164件、整形外科159件、歯科口腔外科109件、呼吸器外科60件でした。年々鏡視下手術が増加しつつあります。

このような多岐にわたる医療を支え、地域の医療需要を知るためには、基盤となる診療情報の管理がたいへん重要です。医師が交替しても患者の情報がきちんと受け継がれていくことは、カルテが紙でも電子データでも普遍的に必要な条件であると考えています。当院では、診療情報管理士がこの分野を手際よくまとめてくれており、毎月各診療科の医師やコメディカルが参加して、診療録の監査を行うとともに、死亡診断書の監査も実施しています。おかげで令和2年の病院機能評価では最高ランクのS評価をいただきました。

#### 2. 新型コロナウイルス感染症を経験して

他の公的医療機関同様、2020年からのSARS-CoV-2のパンデミックは大きな影響を受けました。先に述べた地域包括ケア病棟を新型コロナウイルス感染者の収容に充て、陰圧装置を病室に設置し、治療にあたりました。2022年の1年間では年末までに当院に収容したCOVID-19の患者は、総数270名（うち妊産婦46名、新生児8名）でした。極期には超高齢者が増加し、食事

・排泄介助や認知症による徘徊への対応に多くの労力が必要でしたが、当該病棟の職員はよく対処してくれました。国立機構病院傘下の病院ということもあり、沖縄、京阪神、東京への看護スタッフの派遣も行いました。

市役所・保健所からのワクチン接種推進の効果もあり、現在死亡率も下がり、社会経済もコロナ前の状態にもどりつつありますが、何分人類が初めて遭遇したウイルスゆえ、今後起こるかも知れない感染症に対して一般医療とともに感染症の対応も行える体制を維持しつつ地域医療に貢献していかなければならないと考えています。在宅医療も推進されていく中で、今後は急性感染症に対しても円滑な病診連携が行える体制を構築していくことが必要ですが、慢性疾患とは異なり患者数が急増急減する疾患に対して、それに対応する医療人材を柔軟に配置したり、患者を移動させたりする体制がないことが大きな課題だと言えます。

2025年から2040年にかけては、生産年齢人口が急減していく時代に突入していくことから、地方都市では医療分野でも人員を追加投入することが困難になります。現状の人員の増加が期待できない中で、2024年からは医師の労働時間の上限規制により医師の実働時間は減ります。今回のパンデミックでは、公的病院が通

常の一般診療も行いつつ、感染症の対応も行えたことは特筆すべきことであったと思います。これは公的病院の貢献もありますが、地域の診療所や病院を含めたわが国の医療体制が常日頃から地域に密着したきめ細かい診療を行っていたことで、変則的な医療需要に対しても比較的よく持ちこたえ、医療サービスを供給できた結果だと思います（不十分だという批判もありますが、ロックダウンなどを行っても超過死亡率が高かった外国の状況と比べてみれば明らかでしょう）。今後は在宅医療を受ける人口が地方においては更に増加していくことから、感染症を含めた疾病に日頃からきめの細かな医療ケアを引き続き提供できるか、病診連携により必要となるときに公的病院がどの程度即応できるかが、今後同様な感染症などにより起こりうる医療需要への対応の試金石となるでしょう。一つの大きな箱物よりも専門職の人材育成や地域に根付いた医療ネットワークの整備の方がより大切ではないかと考えます。

地域医療は、かかりつけの医療機関との相互支援と信頼関係があって初めて成り立つものです。これから少子化と高齢化が更に進む厳しい状況の中でもしっかりと地域住民の健康を守ることを使命と考え努力していきたいと考えています。



## 宮崎大学医学部だより

### 宮崎大学医学部附属病院 ーリハビリテーション部ー



あらかわ ひでき  
荒川 英樹 教授

#### 1. 概要

宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション部は、昭和52年開院と同時に院内措置として特殊診療施設となり業務が開始されたが、平成14年4月

1日付で、省令による中央診療部としてのリハビリテーション部となり現在に至っている。

#### 2. 業務の現状

人員構成について、リハビリテーション部は令和3年9月1日付で教授職が新設され、荒川英樹が就任するとともに、帖佐悦男教授の後任として宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション科科長を併任している。所属医師は助教2名であるが、令和5年度からは宮崎大学リハビリテーション科専門研修プログラムに専攻医2名が在籍し県内での研修を開始する予定である。メディカルスタッフは、理学療法士18名、作業療法士7名、言語聴覚士5名、事務職員、整形外科病棟からの応援看護師で診療、訓練に取り組んでいる。

診療内容に関しては、大学病院の特性上、急性期入院患者を中心に診療を行っている。リハビリテーション科としての入院ベッドは持たず、各診療科からの診療依頼を受けて診察、評価、目標設定の後、必要なりハビリテーション処方を行う。毎日10～20数件の新患紹介があり、ほぼすべての診療科の入院患者に対して訓練を実施している。リハビリテーション治療は多職種連携が要であり、毎日13時から約30分

間、前日の新患者に関するリハビリテーション科カンファレンスを医師、担当療法士で行うとともに、6病棟9診療科に関しては他科が行うカンファレンスにも療法士が参加している。原疾患が落ち着いた時点でリハビリテーション治療が途中であっても転院や退院を余儀なくされるケースも多いのが現状ではあるが、リハビリテーション治療の継続が必要な場合には外部の医療機関に引き継ぎを行うことになる。そのため、他医療機関との連携、協力が非常に重要である。

また、平成27年4月からは宮崎大学が指定管理者となった宮崎市立田野病院にも医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が在籍しており、地域リハビリテーションによる包括的な診療、支援を行っている。

#### 3. 将来構想

リハビリテーション医療は、単に疾病の治療だけではなく、機能回復や社会復帰を目指す幅広い領域を含んでおり、最近では「活動を育む」ための医療と定義されるようになった。新生児から高齢者まですべてのヒトを対象として、急性期から回復期、生活期までのすべての時期に病院、地域を問わず関与するシームレスな医療であり、社会医療福祉制度や介護保険制度に関する知識も必要な領域である。宮崎県においてこのような専門的なりハビリテーション医療を提供することは本学の重要な使命であり、それを実践できる人格と能力を備えた医療人の育成にも取り組んでいきたい。

宮崎県医師会の先生方におかれましては、宮崎県におけるリハビリテーション医学・医療の発展、リハビリテーション科医の育成など、なお一層のご協力、ご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 専 門 分 科 医 会 だ よ り

## (眼科医会)

なかむら あきのぶ  
中村 彰伸 会長

宮崎県眼科医会は令和5年2月1日現在でA会員56名、B会員64名、C会員12名、優待会員2名の計134名となっています。

昨年令和4年度の当会の主な活動をご報告します。会員向けの宮崎県眼科医会講習会を4月、11月、12月、

2月の計4回開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響でハイブリッド形式での開催で、講師がリモートでの講演となる会もありました。この講習会は会員が「眼科専門医」を維持する単位取得の一助、かつ最新学術知見を修得して医療の質の向上を図る機会となるように各分野のエキスパートを講師にお招きして開催しています。ただ昨年10月に「日本眼科学会認定眼科専門医」から「日本専門医機構認定眼科専門医」へ一斉移行しました。

また保険診療について理解を深めていただけるよう審査上の疑義などについて周知する保険研究会を7月と12月の2回開催しました。

宮崎県眼科医会は日本眼科医会の一支部として、日本眼科医会（日眼医）の活動方針に沿った活動を展開しています。その日眼医が「眼科アドボカシー活動」に注力しています。アドボカシー活動とは、課題を可視化して国民や政府に理解してもらって啓発活動と、それをふまえた政策提言を行うことです。「人生100年時代、切れ目なく国民の目を守る」と題し、各年代の代表的眼科課題を念頭に活動することが掲げられています。乳幼児期については、「弱視の発見と治療」を掲げ、その手段として全市町村に乳幼児眼科健診時に屈折検査が実施できるように政府に働きかけ、検査機器導入に際し、国から助成が得られることとなり、ほぼすべての市町村で屈折検査が可能となりました。宮崎県においても地区理事の先生方に各市町村に屈折検査の必要性を説明していただきほぼ全市町村に検査機器が完備され、屈折検査実施率70%と聞

いております。この健診結果が治療へつながっていくか今後検証していく必要があります。

学童期では「近視の進行抑制」を掲げており、そのために学童の近視実態を把握する必要があります。文科省が令和3年から3年計画で全国一斉近視実態調査を企画し、宮崎県も清武地区が調査対象となり、当会は宮崎大学と地区会員の協力を得て文科省調査に協力しました。令和5年も調査実施予定でその結果をもとに、対策が検討されるものと考えます。

壮年期については「緑内障、全身疾患の眼合併症早期発見」を掲げて活動しています。皆様もTVでご覧になったことがおありだと思いますが、ACジャパン支援キャンペーンとして公共広告を利用し、「緑内障」について周知啓発を全国的に展開しています。当県におきましては、世界緑内障週間にあわせ、令和4年3月6日～3月12日に県内数か所の眼科施設と宮崎県庁本館を夜間グリーンのライトで照らし出し、緑内障の啓発活動をしました。今年も3月12日～3月18日にこのライトアップを予定しています。

また日眼医は「ダイバーシティ推進活動」にも注力しています。「ダイバーシティ推進」とは性差、生活環境、文化、国籍などの特徴を尊重し認め合い、同質性から脱却し、多様な観点から新たな発展へと促すこと。眼科において女性医師の割合が4割、病院での眼科医不足が深刻になりつつある、問題を内包しているのは育児中の女性だけではない、解決には関係する多様な立場の意見が必要、などのことから「ダイバーシティ推進」の必要性が訴えられており、その手始めとして「男女共同参画」に取り組んでいます。講演会などに参加しやすい環境づくりをするとともに、医会活動にも女性医師の積極的参加をお願いして、14名の理事中3名が女性理事です。

このような活動を通して会員の医療の質を担保し、県民の皆様にも良質な医療を提供できるよう努めてまいります。これからも皆様のご指導よろしくお願いいたします。

## 第3回各郡市医師会長協議会

と き 令和5年1月24日(火)

ところ 県医師会館および各郡市医師会館等 (Web会議)

### 1 開 会

市来常任理事の司会により開会し、河野会長の挨拶の後、報告・協議に入った。

### 2 報告および協議

#### 1) 本県における医師の働き方改革の進捗状況について

池井常任理事と医療労務管理アドバイザーの本嶋社労士から、医療勤務環境改善支援センターの体制や支援状況等について説明があった。今後は、現在、県が医療機関に対して行っている特定労務管理対象機関(連携B, B, C1, C2)の指定予定や宿日直許可の取得状況、労務管理アドバイザーの支援の有無についての調査結果をもとに、宮崎労働局などの関係機関と連携して、医師の働き方改革を推進していくことが報告された。

また、佐藤会長から、有床診療所の宿日直許可の成功事例やオンコールについて、高村会長からは、小児急病センターの宿日直について質問があり、本嶋社労士が説明された。

#### 2) 1/17(火)(日医)都道府県医師会長会議について

河野会長から、1月17日、日本医師会館において行われた第3回都道府県医師会長会議において協議された学校保健を巡る諸課題について、本県を含む8つの県医師会によるグループ討議の報告および各県医師会からの事前質問に対する日医の回答に



ついて報告があった。本県からは、学校健診での脱衣の問題と教職員50名以上の学校における産業医の選任について、問題の改善と労力に見合った予算措置、増額を要望したことが報告された。

また、令和6年11月に本県で開催予定の全国学校保健・学校医大会および九州学校検診協議会の関連行事について準備を進めていることが報告され、各郡市医師会にも協力依頼があった。

#### 3) 1/17(火)(日医)日本医師連盟執行委員会について

吉田常任理事から、1月17日、日本医師会館において行われた日本医師連盟執行委員会において協議された令和3年度日医連収支決算、令和5年度日医連負担金、次期参議院議員選挙の比例代表選挙における組織内候補の選考基準について報告があった。また、現在重要な局面を迎えている「かかりつけ医の制度整備」について、国民は複数の疾患を持つ方も多く単純に機能を定

められるものではないことや、かかりつけ医機能は地域や診療科によって異なることから、必要な機能を地域ごとに考えることが大切であることなどを地元国会議員に働きかけるよう依頼があり、宮崎県医師連盟として、県選出国会議員に対し早急に要望書を発出することが報告された。

また、4月29日に任期満了を迎える宮崎県議会議員の選挙について、県医連の推薦候補者を検討するため、2月中旬を目途に各選挙区の推薦候補者を報告してもらうよう依頼があった。

## 出席者

## 各郡市医師会長

高村（宮崎）・田口（都城）・佐藤（延岡）・千代反田（日向）・永友（児湯）・松本（西都）

中村（南那珂）・内村（西諸）・植松（西臼杵）・帖佐（宮大医）会長

## 県医師会

河野会長，山村・小牧副会長，  
荒木・市来・吉田・金丸・池井・石川・高木・嶋本・赤須・大塚・吉見常任理事，  
峰松・佐々木・玉置・上山・落合・山中・河原・吉村理事

## 事務局

竹崎局長，園山次長，  
久永・松本・牧野・野尻課長，湯浅課長補佐，  
杉田医師国保組合事務長，  
小川医師協同組合事務長，  
大野・鳥井元医師協同組合課長

## 2月のベストセラー（宮崎県）

集計：2023年2月1日～2月22日

1	三千円の使いかた	原 田 ひ 香	中 公 文 庫
2	死は存在しない	田 坂 広 志	光 文 社 新 書
3	名探偵のままでいて	小 西 マ サ テ ル	宝 島 社
4	変な絵	雨 穴	双 葉 社
5	カケラ	湊 かなえ	集 英 社 文 庫
6	バカと無知	橘 玲	新 潮 新 書
7	20代で得た知見	F	KADOKAWA
8	変な家	雨 穴	双 葉 社
9	地図と拳	小 川 哲	集 英 社
10	不可能な過去	堂 場 瞬 一	ハ ル キ 文 庫

## 九医連第124回臨時委員総会

と き 令和4年11月25日(金)

ところ ホテル日航大分オアシスタワー (大分市)

九州医師会連合会第124回臨時委員総会が開催された。議事に先立ち、九医連担当県の河野大分県医会長より挨拶が行われ、引き続き、松本日医会長、星参議院議員より来賓祝辞があった。

### 松本日医会長の来賓祝辞(要旨)

伝統ある九州医師会連合会へ、お招きいただきありがとうございます。

今冬は、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行が懸念されているが、我々の底力を発揮し、発熱外来であるか否かにかかわらず発熱患者を診ていくことが非常に大切である。医療機関に行ったが断られたとなると、ますますコロナ抗原検査キットの配布を促進してしまい、同時検査キットの配布もということになる。更に、季節性インフルエンザ検査キットやタミフルもOTC医薬品にという事態になりかねない。ぜひとも、先生方には発熱患者をしっかりと引き受けて診ていただきたい。

引き続き、座長に河野九医連会長が選出され、協議に入った。

### 報 告

#### 1 九州医師会連合会第404回常任委員会について(大分)

河野九医連会長から、先に開催された常任委員会で本委員会総会へ提出する議事などを了承されたことなどが報告された。

#### 2 九州医師会連合会事業現況報告について

#### (大分)

大分県の内田委員から、令和4年7月～10月の事業現況が報告された。

#### 3 九州医師会連合会歳入歳出現計について

#### (大分)

大分県の植山委員から、令和4年10月末日現在の歳入歳出現計が報告された。

#### 4 第122回九州医師会連合会総会及び医学会関連行事について(大分)

大分県の内田委員から、翌日以降の行事の概要が報告された。

### 議 事

#### 第1号議案 第122回九州医師会連合会総会における宣言・決議(案)に関する件(大分)

原案どおり承認され、翌日開催される九州医師会連合会総会に提出されることになった。

出席者－河野会長、山村・小牧副会長、  
吉田・市来・金丸・池井・嶋本・  
大塚常任理事、峰松・玉置理事、  
竹崎局長、久永・松本課長、  
本崎・羽田野・弓削・桑山主事

# 九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会

と き 令和4年11月26日(土)

ところ ホテル日航大分オアシスタワー（大分市）

河野九医連会長（大分県医会長）の挨拶の後、松本日医会長により「中央情勢報告」と題して講演が行われた。

## 松本日医会長・講演要旨

### 1. はじめに

日医執行部における会務運営にあたっては、「地域から中央へ」、「一致団結する強い医師会へ」、「医師の期待に応える医師会へ」、「国民の信頼を得られる医師会へ」の4つを柱としている。医療政策の実現に向けては、医療現場の意見をふまえ、医療政策の議論の場に臨んでいる。また、国民に対しては、日医公式のYouTubeチャンネル、定例記者会見、国民向け小冊子の作成、役員のテレビ出演などを行いながら、しっかりと広報活動を行っていく。

### 2. 組織力強化

医師会の組織力強化は、喫緊の課題として取り組むべき最重要事項の一つである。日医では、来年度より会費減免期間を医学部卒業後5年までに延長し、会費の無料化を図る。各都道府県医師会、郡市区医師会においては、会費減免措置の延長についてご検討いただくとともに、医師会入会の取り組みに協力いただきたい。

### 3. 新型コロナウイルス感染症への対応

これまでの日医の取組みとして、全国知事会と意見交換を開催するとともに、感染者の全数把握に代わる仕組みを求める緊急申し入れを全国知事会との連名で8月2日に厚労大臣に手交した。また、8月19日には今般の感染拡大をふまえた今後の対応に関する要望書を手交し、抗原定性検査キットの医療機関



への優先供給、健康フォローアップセンターの充実など6項目の実施を求めた。現在、新型コロナウイルス、季節性インフルエンザの同時流行が懸念されるが、同時流行が起きた際、最も重要となるのは診療・検査医療機関である。これまで、都道府県医師会並びに郡市区医師会の協力を得て発熱外来診療体制整備に努めてきたが、同時流行に備え、より一層の拡充に協力いただきたい。

規制改革推進会議の医療・介護・感染対策ワーキンググループでは、季節性インフルエンザの検査キットのOTC化を求める動きがある。季節性インフルエンザの治療は、医師による検査並びにいくつもの診断結果から総合的に判断し、治療の適応を決めるものである。新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの検査結果が陰性で、かつ発熱している場合、さまざまな原因の可能性があり、慎重な対応が必要となることから、OTC化は適切でないと考えられる。コロナ禍において、医療への適切なアクセスを堅持し、国民の生命を守っていくため、日医として全国の医師会および会員医療機関とともにコロナ対策を強化していく。

### 4. 地域における面としてのかかりつけ医機能

日医では、これまで一貫してかかりつけ医

の普及に取り組んできた。今回、かかりつけ医に関する日医の考えとして、「地域における面としてのかかりつけ医機能～かかりつけ医機能が発揮される制度整備に向けて～」を機関決定し、11月2日に公表した。各医療機関においては、日常診療時より他の医療機関と連携し、地域住民の医療ニーズに対し、地域におけるネットワークで対応していくことが望ましい。また、地域に根差した活動への評価・支援、連携やネットワーク構築などの環境整備にあたっては、診療報酬上の評価のみならず、補助金などを活用していくことも必要である。今後、国民に分かりやすくかかりつけ医機能を示すため、医療機能情報提供制度の充実・強化を進めていく。

## 5. 医療界におけるDX

令和5年4月より、保健医療機関・薬局へのオンライン資格確認導入が原則義務化される。日医としては、オンライン資格確認の導入の推進、普及に協力する立場をとっている。一方、コロナ禍による医療現場の疲弊や、世界的な半導体不足による機材調達遅れ、システム事業者側の対応力不足により、発注しても導入が進まないなど、導入における課題が山積みしている。今回の原則義務化を契機として、地域医療提供体制に支障を来す事態が生じないよう、日医としても各関係者と協力し、引き続き課題解決に努めていく。

政府は令和6年の秋頃を目途に健康保険証を廃止しマイナンバーカードに一体化するとの方針を示した。しかしながら、システム障害時の対応や、在宅医療や訪問看護などの患者宅での資格確認など、運用上の課題が多く、早急に対応を考えていく必要がある。また、マイナンバーカードを取得していない国民が保険診療を受けられないような状況や、医療現場に混乱を招くようなことはあってはならない。今後、日医として必要な対策などについて政府と協議していく。

オンライン資格確認のインフラを利用して

構築される電子処方箋の仕組みについては、令和5年1月に運用が開始される。医師が電子署名を行うには、厚労省が定めた保健医療福祉分野における公開鍵認証基盤（HPKI）が必要であり、日医では、HPKIカードとして医師資格証を発行している。日医会員であれば、発行・更新費は無料であり、非会員であっても実費のみで取得可能である。今後、全医師に対する医師資格証の発行を促進していく。

## 6. 物価高騰

物価高騰への支援として、政府に新たに6,000億円規模の電力・ガス・食料品など価格高騰重点支援地方交付金を創設してもらったが、円安やエネルギー価格などの物価の高騰が続いているため金銭的にはまだ不足している状況である。今後も更なる支援を要望するとともに、すべての自治体で医療機関などへの支援が実現するよう、地域医師会から地方自治体への働きかけをお願いしたい。診療報酬による対応についても、引き続き粘り強く交渉していく。

## 7. 医師の働き方改革

2024年から実施される医師の働き方改革について大学病院および一般病院においては、急激な労働短縮で地域医療にひずみが出ることのないよう、評価受審の申請をお願いしたい。特に、長時間労働医師に対する面接指導医の育成、医療機関医師における宿日直に関する取扱いについては、評価センターを担う日医として、都道府県医療勤務環境改善センターと連携し、支援をしていくことが重要である。大学病院などでは、派遣切りなどの問題が起こらないよう最善を尽くし、各都道府県医師会においても、地域医療がしっかりと維持できるように状況を把握することが求められる。

## 8. 持続可能な社会保障制度のために

社会保障では、自助（患者負担）・共助（保険料）・公助で成り立っていることをふまえ、

患者負担を増やすことばかりではなく、それぞれのバランスを取りながら時代に対応できる給付と負担の在り方という視点に立って議論することが重要である。国民医療費財源構成については、日本の高齢化率は極めて高いにもかかわらず、公費の投入額が低いことが問題とされる。社会保障の持続可能性と財政健全化の両立を図るため、低所得者にも十分な配慮をしつつ、国民が納得できるよう十分な議論を尽くしていく必要がある。

## 9. 事前質問への回答

### (1) リフィル処方およびオンライン資格確認の導入の義務化に関する新執行部の対応などについて

リフィル処方箋の発行は、現在限定的な活用に残っていると認識している。財政制度等審議会の令和2年12月の答申では、通院負担を減らすことをリフィル処方導入の狙いとしている旨の記載があるが、医師が定期的に医学管理を行い、適切な処方期間を検討することが再診の持つ意味であり、不要な再診はないと考える。また、長期処方にはリスクがあるため、不適切な長期処方は是正すべきであり、リフィル処方の発行にあたっては、医学管理の重要性を鑑み、慎重かつ丁寧に検討いただくよう周知を図っていく。

オンライン資格確認については、日医ホームページに設けた相談窓口を通じ、オン

ライン資格確認導入への対応が困難な事例を収集し、随時、厚労省と共有しながら、問題解決のための情報提供や対応について申し入れを行っている。また、仮に導入が間に合わない場合でも、療担規則違反を問われることがないように、必要な措置を厚労省へ求めていく。日医ではサイバーセキュリティに関連する日常の些細なセキュリティトラブルから重大トラブルまで幅広くご相談いただける相談窓口を設置しているので、こちらも活用していただきたい。

### (2) 医師会立看護師等養成所への財政的支援について

医師会立看護師養成所は入学希望者の激減や財政問題により、閉校に向けた動きが加速している。日医では、令和4年8月に厚労省へ、地域医療を支える看護職の要請に関する要望書を提出した。各都道府県医師会においては、単価引き上げについて、行政との協議をお願いするとともに、地域医療介護総合確保基金など、補助金の活用についても検討いただきたい。

出席者－河野会長、山村・小牧副会長、  
吉田・市来・金丸・池井・嶋本・  
大塚常任理事、峰松・玉置理事、  
竹崎局長、久永・松本課長、  
本崎・羽田野・弓削・桑山主事



## 日本医師会公式キャラクター「日医君」LINEスタンプ

使いやすいスタンプが8種類！

日本医師会の公式アカウントと友だちになるともらえます！

**3月21日(火)より午前11時より**LINEスタンプショップ※にてダウンロードが可能となります。

※LINEアプリ内【ホーム】>【スタンプ】>【無料】タブに掲載



友だち追加URL・QRコード  
<https://lin.ee/8399A2T>



問い合わせ先：  
日本医師会広報課  
Tel. 03-3942-6483 (直)  
E-M [kouhou@po.med.or.jp](mailto:kouhou@po.med.or.jp)

## 第122回九州医師会総会・医学会

と き 令和4年11月26日(土)

ところ ホテル日航大分オアシスタワー（メイン会場）およびWeb配信

第122回九州医師会連合会総会・医学会は、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じたうえで、大分県のホテル日航大分オアシスタワーをメイン会場に開催され、その模様は会員にもWeb配信された。

### 総 会

開会の辞、国歌斉唱の後、令和3年11月1日から令和4年10月31日までに逝去された九医連会員271名の御霊に対し黙祷が捧げられた。

続いて、九医連担当県の河野会長（大分県医）の挨拶、松本会長（日医）、広瀬知事（大分県）、佐藤市長（大分）の来賓祝辞があり、臨席の来賓紹介の後、祝電披露が行われた。

その後、九医連会則第18条により九医連の河野会長（大分県医）が議長となり、宣言および決議案が上程され全会一致で原案通り承認・採択された。

最後に、次年度担当県で九医連副会長の森崎会長（長崎県医）から、今回は令和5年11月25日(土)、26日(日)に長崎市のホテルニュー長崎で開催することが報告された。

### 挨 拶（要旨）

#### 九州医師会連合会長 河野 幸治

コロナ禍の中、3年ぶりの対面開催を目標に準備してきた。ここに第122回目の歴史ある大会を迎えることができたことは、主催者として安堵するとともに、九州各県の先生方、関係各位の皆様にご改めて感謝申し上げます。

九州医師会医学会は明治25年の熊本大会以来、約120年以上にわたり、わが国による医学の向上・発展に寄与してきた。今日における九



州医師会医学会の発展があるのも、九州各県の先人たちの並々ならぬご尽力と結束の賜物である。一方、国は医療構造改革として地域医療構想、医師の働き方改革、医師の偏在対策の三位一体の改革を推し進めている。さらには、オンライン資格確認や処方箋の電子化など、医療DXの進め方についても、これから解決しなければならない多くの問題が山積している。

さて、私どもは国民の健康を扱う医師の立場から、国民共通の社会資本である、社会保障制度を守る責務がある。特に、その根幹をなす国民皆保険制度を堅持することが最も重要なことである。私ども九州医師会連合会は日本医師会はもとより、全国の医師会と連携を強化し、一致団結して国民の生命と健康を守ることに取り組まなければならない。後程、その実現に向け、宣言・決議案を上程するので、会員各位の絶大なるご理解とご支援をお願いしたい。

本日はこの後医学会特別講演として2題を予定しており、また、明日は7つの分科会を予定している。記念行事は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮し中止としたが、準備など

の計画をお願いした先生方には大変ご迷惑をおかけしたことをあらためてお詫び申し上げます。

結びに、本総会・医学会の開催にあたり、多大なご支援とご協力を賜った来賓の皆様、九州各県医師会の会員の皆様に対し重ねてお礼を申し上げ挨拶とさせていただきます。

### 来賓祝辞（要旨）

#### 日本医師会長 松本 吉郎

はじめに、今年9月に九州を襲った台風14号による被害により亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被害者の方々に対して心よりお見舞いを申し上げます。また、関係各位の方々には日頃より医師会と連携を図っていただき、医療機関に多大なるご支援を頂戴していることも改めて感謝申し上げます。

3年目が始まったコロナ禍は依然として続いており、第8波がどのようなカーブを描くのか分からないが、先生方をはじめ、地域の医師会や医療機関には連日対応いただいている。その結果、診療検査医療機関は41,000施設を超え、また地域医師会との運営による地域外来・検査センターは430施設を超えるようになった。皆様方に感謝申し上げます。

オミクロン株対応ワクチンについては、すでに国内に広く行き渡っているが、この冬は季節性インフルエンザとの同時流行を懸念している。先生方には、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザのワクチンの接種推進により一層のご協力をお願いしたい。

かかりつけ医の議論も進んでいるが、私ども医療機関自らがかかりつけ医機能を磨き、他の医療機関との連携を図りながら、地域におけるネットワークで国民を支えていくことが重要だと考える。国民が必要なときに必要な医療を受けられるようにするために、地域に根ざして診療される先生方に深く感謝を申し上げますとともに、引き続きのご協力を賜りたい。

日本医師会の役割は国民の健康と生命を守る

ことに尽きると考える。これは医師の使命である。この使命を全うするためには、全ての医師並びに医療関係者の皆様のご理解とご協力、そして国をはじめとする関係機関との連携が不可欠である。九州医師会連合会の先生方におかれましては、従来にも増してご支援とご協力を賜るようよろしくお願い申し上げます。

結びに、九州医師会連合会の今後ますますのご発展と皆様方のご健勝を心より祈念申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。

### 次回開催担当県会長挨拶（要旨）

#### 長崎県医師会長 森崎 正幸

はじめに、このようなコロナ禍の中、盛大な総会・医学会を開催されました、河野会長（大分県医）をはじめ、大分県医師会職員の皆様方に心からお礼を申し上げます。

来年度の総会・医学会および分科会並びに記念行事は、11月25日(土)、26日(日)に長崎市のホテルニュー長崎で開催する。現在長崎駅周辺は100年に一度の変革と言われており、新しいホテルなども完成しているため、ぜひ景観も楽しんでいただきたい。長崎は観光地であり、世界三大夜景に例えられる稲佐山からの夜景など数多くの観光スポットがある。

多くの先生方にご参加いただくよう心からお願い申し上げます、次回開催県の挨拶とさせていただきます。

## 宣 言

2年半に渡って続いているCOVID-19感染の中、多くの医療機関は通常診療に加え、自治体のワクチン接種事業への協力をを行いながら、発熱外来やコロナ患者の入院治療、ホテル療養への対応などはもちろん、自宅療養や施設療養の支援・治療にも尽力している。長引くコロナ禍により、病院では入院や手術等の制限、また診療所に於いても感染を恐れた受診控え等、さらには物価高騰や円安が惹起する各方面での費用の増大は経営面での厳しさを加速し、運営面では、長期間のストレスによる人材の確保困難等も加わり大変厳しい状況に置かれている。

また、政府は内閣直轄の「内閣感染症危機管理統括庁」を設置し、省庁をまたぐ業務の指揮命令系統を明確化するとともに、「日本版CDC」を設置しようとしている。平時からの新興・再興感染症への備えが必要であり、特にワクチンの開発や治療薬の研究促進が重要と考える。

そのような中で行われた今回の診療報酬改定では、本体の改定率こそプラス0.43%であったが、その内容は必ずしも満足できるものではなかった。大臣合意で決定され、中医協での十分な議論なしで導入されたリフィル処方や規制改革推進会議の意向で算定の幅が広げられたオンライン診療は、いずれも医師と患者の関係を希薄化させるものであり、再考が必要である。

また、政府が進めようとしている「かかりつけ医」の制度化は、国民皆保険制度の根幹を成すフリーアクセス制の崩壊に繋がり、かつてのイギリスの失敗の轍を踏むことになるため絶対に反対である。

ところで、2024年度から施行される医師の働き方改革は、医師の地域偏在や診療科偏在対策を含む医師確保計画や地域医療構想、医療計画などとも密接に相関する。従って、休日夜間救急体制の在り方や今回の新型コロナウイルス感染症など有事における人材確保・育成・リスクマネジメント等を含め、地域の実情を把握した上で、適切な運用が協議検討されることが必要である。加えて、医療・介護現場における看護師、准看護師等の人材不足は深刻であり、過不足ない適切な医療提供体制や地域包括ケアシステム構築のためにも安定的な看護師、准看護師等の養成及び確保は必須である。

さらに、子どもの貧困対策、児童虐待防止対策など、常に子どもの利益を第一に考えた「こどもまんなか」社会の実施に向けた「こども家庭庁」が令和5年4月に創設される。次世代を担う子どもたちが笑顔で暮らせる環境の整備に重要な役割を担うと確信するとともに少子化対策のひとつとしても大いに期待したい。

我々九州医師会連合会は、世界に冠たる国民皆保険制度を守り抜き、さらに続くであろうコロナ禍にも対応できる医療提供体制の構築に向けて、医師としての高い倫理観と使命感を礎に、国民の生命と健康を守るために一致団結して邁進することをここに宣言する。

令和4年11月26日

第122回九州医師会連合会総会

## 決 議

我々九州医師会連合会は、政府に対し、次の事項を強く要求する。

- 一、国民皆保険制度の堅持
- 一、社会保障制度充実のための適切な財源の確保
- 一、次期改定時における診療報酬の適正な評価
- 一、「内閣感染症危機管理統括庁」及び「日本版CDC」の早期創設と新興・再興感染症の感染拡大防止策の更なる強化
- 一、初診のオンライン診療は反対
- 一、療養管理上、問題が生じかねないリフィル処方の廃止
- 一、フリーアクセスを阻害する「かかりつけ医」制度化の阻止
- 一、地域の実情を反映した働き方改革の制度設計
- 一、「こどもまんなか」社会を実現するための「こども家庭庁」の適切な運用
- 一、看護師、准看護師等の継続的な養成と教育機関への恒久的財源の確保

以上、決議する。

令和4年11月26日

第122回九州医師会連合会総会

**医学会 特別講演 I****演題「デジタル医療革命—AI・ロボットと人類との調和—」****講師 大分大学医学部 消化器・小児外科学講座  
教授 猪股 雅史 先生**

わが国は世界に類を見ない超高齢化社会を迎え、その中で、この3年間のパンデミックによる医療崩壊寸前を経験し、さらに2024年の医師の働き方改革に対応すべく、今、わが国の医療制度のあり方が問われている。日本が誇る高い安全性、有効性を保ちつつ、より効率的な医療や検診、介護を含めたヘルスケアを推進するため、デジタル・トランスフォーメーション(DX)の役割が注目されている。

その主役となるのがICTやAIを活用したDXである。AIを導入するメリットは、業務の効率化、データの収集、精度の向上である。その代表的な分野が、CT・MRI・X線・内視鏡・病理組織などの「画像診断支援」、ヒトのゲノム情報を広く調べ病気の診断や病気のなりやすさ、薬の反応を予測する「ゲノム医療」、遠隔で問診や検査など効率化する「診断・治療支援」、創薬プロセスの短縮など「医薬品開発」、介護・見守りロボットと連動した「介護認知症支援」である。

一方、手術の技術難度上昇により、術中・術後の合併症発生が大きな課題となっている。大分大学では、2017年より日本医療開発研究機構(AMED)プロジェクトとして、「外科医の暗黙知」に着目し、産学・医工連携にてAIを活用し手術中に解剖学的ランドマークを描出する「AIナビゲーション内視鏡手術システム開発」に取り組んでおり、2024年の臨床応用が期待されている。

デジタル化に親和性の高い手術用ロボットを用いた外科治療も急速に普及している。そのメリットは、3D拡大視野に加え、ロボットアームの持つ多関節機能、手振れ防止機能、Motion-scale

機能である。大分大学では、2022年に低侵襲手術センターを開設し、da Vinci (Intuitive Surgical社)とhinotori (メディカロイド社)の2種類の手術用ロボットを用いて、技術的難度の高い手術を安全に正確に実施するとともに、高度医療を支える医療人の育成にも力を入れている。

5Gをはじめ超高速・大容量の通信技術や8K高精細画像技術を駆使して、遠隔診療の実現にも取り組んでいる。現場の医師と遠隔地の専門医をオンラインでつなぐDoctor to Doctorをはじめ、Doctor to Patientにて、医療水準の地域格差解消に期待が寄せられている。

今後は、国レベルで個人のマイナンバーと電子カルテのリンクや、情報セキュリティー、法的整備とともに、データエンジニアやデータサイエンティストなど新たな職種の育成も必要である。しかし、デジタル医療革命において最も重要なことは、「DXによる置き換え」ではなく、人類の幸福に向けた、「人との調和に基づいた変革」であることは言うまでもない。

**医学会 特別講演 II****演題「医学史からみたパンデミックとの闘い—温故創新—」****講師 川島整形外科病院****理事長 川島 真人 先生**

人類は紀元前の昔からさまざまな感染症と闘ってきた。原因も治療も十分に確立されていなかった時代にはパンデミックは歴史を変えるほどの影響を及ぼしてきた。

スペイン風邪は3波にわたって日本を襲い、最終的には3年かかってほぼ終息した。新型コロナウイルスも初期の死亡率は3.8%でスペイン風邪に匹敵するともいわれていたが、現在では60歳以下ではインフルエンザと同程度の0.1%といわれるように減少してきた。このことから考えて新型コロナウイルスも次第に感染者数は増えてくるが死亡率は徐々に低くなることが

予想される。

人類の歴史において同様の恐るべきパンデミックを起こしたのは天然痘である。

中津で天然痘の種痘に最も深くかかわった医師として辛島医家がある。7代正庵（春帆）は9人の医師と、その子どもたちを連れて、長崎に出向きモーニッケによる種痘を行い、1849年、2千人の種痘に成功したことが記録に残されている。佐賀藩は天然痘に対する種痘の重要性と安全性を国中に広め、西洋医学の導入に消極的であった江戸に1858年、念願の「お玉が池種痘所」を設立、ついに天然痘を制御することに成功した。中津では種痘所の跡を1861年、中津医学館として、大分県で最初の医学校を創った。その後、今日の大分県立病院へと変わった。感染症は、新たな創造的なシステムの

きっかけとなることから、それを土台にして更なる新たな創造に向かうという意味もあるということを経験から学ぶべきである。

コロナパンデミックは人類の環境破壊が原因となり、野生動物が人間と多く接触するようになったことから始まったという説がある。中津の前野良沢は、「天地の運行に過不足があることは、基の原因は人為にある。山林を伐り尽くせば干ばつ烈風が至る」と管蠡秘言（かんれいひげん）で述べている。前野良沢の自然思想は、自分の力は自然の力の一部という謙譲の心が重要であると述べている。

経済効率第一の考え方だけでなく、地球環境などにも配慮し、人類の健康を守るのが我々医師の努めではないかと思っている。

日本医師会

医師年金

—ご加入のおすすめ—

医師年金は、日本医師会が運営する医師専用の私的年金です。

日本医師会員で満64歳6カ月未満の方が加入できます（申し込みは64歳3カ月までをお願いします）。

医師年金  
ホームページで  
ご加入時の

受取年金額のシミュレーションが  
できます！

医師年金 検索

<http://www.med.or.jp/nenkin/>

○ 医師年金の特長 ○ 医師年金のしくみ ○ 医師年金シミュレーション ○ よくあるご質問 ○ 手続ガイド ○ お問い合わせ・資料請求

**豊かで安心できる将来に向けて**

見積もり機能拡充 現役引退後、公的年金だけで、現在の生活水準を維持できますか？

医師年金シミュレーション

ご加入の際の年金額についてシミュレーションしてみよう。

保険料からシミュレーション

受給年金からシミュレーション

マイページに登録した後、ネット上で医師年金加入の仮申し込みができます。

マイページ登録

マイページログイン

【シミュレーション方法】

トップページから「シミュレーション」に入り、ご希望の受取額や保険料、生年月日を入力すると、年金プランが表示されます。

【仮申し込み方法】

「マイページ」に登録すると、ネット上で医師年金の仮申し込みが可能となります。

お問い合わせ・資料請求：日本医師会 年金福祉課 ☎03-3942-6487(直) (平日 9時半～17時)

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

# 医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

## 医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

## 医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談  
無料



まずは、お電話ください。

## 宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550

E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

## 日医インターネットニュースから

### ■コロナ5類移行に向け感染対策を支援 — 幅広い医療機関へ・加藤厚労相 —

加藤勝信厚生労働相は1月30日の衆院予算委員会で、新型コロナウイルスの5類移行に向け、より幅広い医療機関で診療が可能になるよう、感染対策を支援していく姿勢を示した。松本尚氏（自民）への答弁。

松本氏は、5類に移行しても、インフルエンザと同様に「院内の隔離は一定程度必要」と説明。構造的な問題や人員不足で、診療できない医療機関もあると問題意識を示した。

加藤厚労相は、コロナを診療する医療機関を広げる必要があるとの認識を示した一方で、「(類型の)見直しをしたからといって、すぐにそうなるわけではない」と説明。「どう感染対策をしていくのか、どのような準備や設備面の体制が必要なのか。そういった支援もしっかりさせていきたい」と述べた。

移行に向けて検討すべき課題として、診療報酬上の特例措置、入院調整、高齢者施設への支援を挙げ、3月上旬をめどに考え方を示すと説明した。

岸田文雄首相は「国民の安心を確保する観点からも、段階的に移行していく必要がある」と述べた。  
(令和5年2月3日)

### ■基幹病院等の医師派遣「適切な判断を」 — 働き方改革で城守常任理事 —

医療関連サービス振興会が2月3日に開いたシンポジウムで、城守国斗常任理事は、来年4月に始まる医師の働き方改革について講演した。医師の時間外労働に上限規制が適用されることを受け、大学病院や基幹病院による医師派遣が滞れば、地域医療に支障を来す恐れがあると指摘。「地域医療の提供体制を守るために、大学病院や基幹病院には適切な判断をお願いしたい」と訴えた。

今後、「医療機関勤務環境評価センター」へ

の申請がさらに増えると予想されることなどに触れ、申請は遅くとも今年の夏前、6月ぐらいまでに行うよう、改めて呼びかけた。

(令和5年2月7日)

### ■コロナワクチン、次の接種は秋冬に — 全年代が対象、厚労省部会 —

厚生労働省の厚生科学審議会・予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会（部会長＝脇田隆字・国立感染症研究所長）は2月8日、新型コロナワクチンの次の接種について、今年の秋冬に行うのが妥当だとの方針案を大筋で了承した。重症化リスクが高い高齢者らを第一の接種対象としつつも、リスクが高くなくても一定の重症者が生じている状況を踏まえ、全ての年代の接種機会を確保する方向だ。ワクチン分科会での議論も経て、接種方針が正式に決まる。

#### ●「オミ株ワクチン」開始から1年後に

部会に厚労省が示した方針案では、「(コロナの)流行開始以降、年末年始周辺に比較的多くの死者数を伴う流行を認めている」と指摘。「少なくとも年末年始には接種の有効性を発揮する必要がある」とした。

厚労省は、オミクロン株流行下の従来株ワクチンについて、入院予防効果・重症化予防効果は最低6カ月（報告によっては1年程度）、死亡予防効果は10カ月以上、一定程度保たれたと説明。こうしたエビデンスを踏まえ、昨年9月に始めたオミクロン株対応ワクチンの接種から、約1年たつ今年の秋冬には次の接種を行うことが妥当としている。

#### ●高リスク者、秋冬待たずに追加接種念頭

方針案では、重症化リスクが高い人や、医療従事者など「重症化リスクが高い人と頻繁に接触する人」について、秋冬を待たずに追加接種することも念頭に置くべきだとした。▽ワクチンの有効性の持続期間に関するデータ▽変異株の状況▽感染拡大の状況▽諸外国の動向—などを継続的に注視すべきだとの考え方を示している。

釜薙敏委員（日医常任理事）は、秋冬を待たない追加接種の在り方について、「今後どこでどのように検討していくのか」と質問した。厚生労働省は今後、予防接種・ワクチン分科会で議論を求める姿勢を示した。

#### ●小児・乳幼児への接種も当面継続

方針案では、小児・乳幼児への今後の接種について、「薬事上使用可能なワクチンがあることを前提に、オミ株対応2価ワクチンに早急に切り替えていくことが望ましい」とした。小児・乳幼児は大人に比べて接種開始時期が遅かったことから、当面は接種を継続する方向性を示した。

小児・乳幼児への接種では、現時点では使用できるオミ株対応2価ワクチンがなく、従来株ワクチンを用いている。（令和5年2月10日）

### ■マスク緩和も、医療機関受診時は着用を — 政府、来月13日から —

政府は2月10日、新型コロナウイルスを感染症法上の5類に移行することに伴い、新たなマスク着用の考え方を示した。着用は個人の判断に委ねることを基本とした上で、判断に役立つため、着用が効果的な場面を示した。医療機関の受診時や、高齢者など重症化リスクが高い人が多く入院・生活する医療機関・高齢者施設を訪問する際は、着用を推奨する。周知や準備の期間を考慮し、3月13日から適用する。

#### ●医療・介護従事者、勤務中着用を「推奨」

医療機関・高齢者施設の従事者は、勤務中の着用を推奨する。症状がある人や、陽性者、同居家族に陽性者がいる人は、外出を控えるよう求めるが、通院などでやむを得ず外出する場合は人混みを避け、着用することとした。重症化リスクが高い人が混雑した場所に行く場合も、自身を守るための対策として着用が効果的だと

周知する。

通勤ラッシュ時の混雑した電車やバスに乗車する時なども、当面、着用を推奨する。全員の着席が可能な新幹線や高速バス、貸し切りバスなどは除外する。

学校では、着用を求めないことを基本とする。ただ、基礎疾患などさまざまな事情で感染不安があり、引き続きマスク着用を希望する児童生徒には適切に配慮し、換気の確保など必要な対策を講じるようにする。学校での取り扱いは4月1日から適用するが、その前に行われる卒業式は着用せずに出席することを基本とする。

子どもの発育・発達の妨げとならないよう、保育所などにも考え方を周知する。2歳未満児は従来通り着用を推奨しない。2歳以上児はこれまで「着用を一律には求めない」としていたが、改定後は「着用を求めない」と明記した。

#### ●「感染対策の必要性は引き続き訴え」

会見した加藤勝信厚生労働相は「ウィズコロナに向けた一歩になる」とした。しかし、「コロナそのものがなくなったわけではないので、感染対策の必要性は引き続き訴えていきたい」と述べた。

後藤茂之経済再生担当相は、適用を5類移行前の3月13日としたことについて、厚生労働省の感染症部会の意見も参考にしたと説明。「なるべく早く実施することが望ましいと考えられた」と話した。

政府分科会の尾身茂会長は、同日開かれた分科会で、基本的に個人の判断に任せる方針で合意が得られたとし、マスク着用の効果に関する科学的知見を踏まえたと解説した。「箸の上げ下げまで指示するのは、時代にふさわしくない。国、専門家は判断の参考となるようなデータを示していく必要がある」との見解を示した。

（令和5年2月14日）

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会 (<http://www.med.or.jp/>) >メンバーズ>日医インターネットニュース

#### メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の下2桁，月2桁，日2桁」の6桁の数字（半角）

## 医師協同組合だより

### 医師協同組合取扱い保険について

医師協同組合では、様々なリスク等に対応する損害保険・生命保険を取り扱っておりますので、興味のある商品がございましたら、ぜひご加入をご検討ください。

#### 【損害保険】

##### ○医師賠償責任保険（医療機関用・勤務医用） 20%割引

医療行為により患者の身体に損害を与え、法律上の賠償責任を負担することによって被る損害を補償します。また、日医A会員の保険では免責となっている、対人事故での自己負担100万円と、医療施設に起因する事故も3億円まで補償します。（病院が出火し患者が死亡した。病院内での給食で食中毒を起こした。など）医療従事者のリスクを補償したり、患者から預かった受託物等を補償するオプションもございます。

##### ○看護職賠償責任保険 25%割引（診療所5%割引）

看護職員の個人責任を補償するもので、加入医療機関に勤務するすべての方が対象者となりますので、付保もれの心配が不要です。診療所の場合、年間で1万円程度という割安な保険料で対人賠償5,000万円まで補償します。

##### ○所得補償保険（法人用・院長用・勤務医用） 30%割引

病気やケガで就業不能となった場合はもちろん、医療保険では不担保が多い自宅療養や精神障害までを対象として、先生方の所得を補償します。また、1年間無事故の場合は年間保険料の20%を無事故戻しとしてお戻しします（昨年より、加入時に必要な告知内容が大幅に緩和されましたので、加入しやすくなっております）。

##### ○傷害保険 10%割引

先生やご家族が国内・国外を問わず、家庭内・職場内・通勤途上・旅行中など、日常生活における急激かつ偶然な外来の事故によりケガをされた場合に保険金をお支払いします。地震・噴火・津波が原因によりケガをされた場合にも、補償の対象となる特約もございます。

##### ○針刺し事故等補償付き傷害保険

上記の傷害保険に針刺し事故による感染症の補償をプラスした保険です。針刺し事故については、HBVに感染後B型肝炎発病、HCV・HIVに感染した場合にお支払いします。

##### ○クレーム対応費用保険

理不尽なクレームや暴行・脅迫等に対して、専門相談窓口による無料相談サービスを受けることができ、弁護士による法的対応を行う場合の弁護士費用をお支払いします。

### ○居宅介護事業者等賠償責任保険 5%割引

介護事業者等の業務を包括的に補償する保険で、利用者から預かった品物を破損させた場合や、利用者を介助時にベッドから転落させてしまった場合、施設の手すりが壊れていたために利用者がケガをした場合など、幅広い賠償を補償します。

### ○サイバー保険 20%割引

電子カルテ等にサイバー攻撃を受けた場合の様々な費用や、それによって個人情報漏えいが発生した場合の謝罪・広告費用を補償します。

### ○ゴルファー保険 30%割引

ゴルフのプレー中や練習中の事故を対象とし、他人に対する賠償やゴルファー自身のケガ、ゴルフ用品の盗難、ゴルフクラブの破損、ホールインワンやアルバトロス費用（最高100万円）を補償します（毎年3～5名の先生方より、ホールインワンのご連絡をいただいております）。

### ○自動車保険 5%割引

自動車事故における加害者・被害者の死亡やケガ、お車の損害を補償します。（任意保険）現在ご加入の保険会社からの等級引き継ぎも可能です。

### ○火災保険 5%割引

火災だけでなく、落雷・風災・車両の飛込み等による、建物や家財・備品の損害を補償する保険です。また、火災保険では補償されない地震・噴火・津波が原因である火災や、損壊・埋没・流失を補償する“地震保険”も火災保険とセットでご加入いただけます。

## 【生命保険】

### ○宮崎県医師会 グループ保険（団体定期保険）

宮崎県医師会が契約者で、掛け捨ての死亡保障保険です。簡単な告知のみで加入でき、保険料も掛け捨てですのでお安くなっております。医師の方は最高4,000万円、配偶者は1,000万円までご加入いただけます。また、剰余金が生じた場合には配当金をお支払いいたします。

（リスクマネジメントラボラトリー社と提携して、共同募集を行っております）

### ○死亡時の備えには・・・

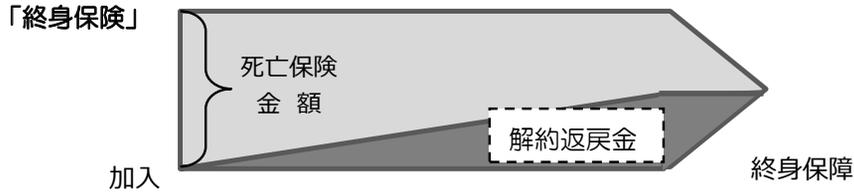
「定期保険」



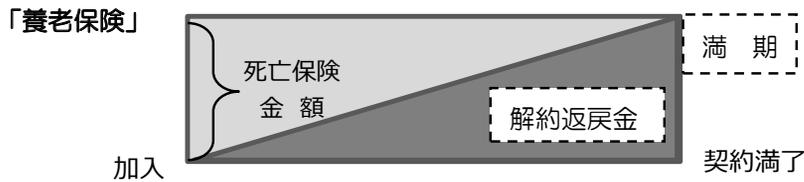
加入

契約満了（または更新）

定められた期間内に死亡や高度障害状態になられた場合に支払われる保険で、契約満了（または更新）があり、満了時には返戻金が全くないか、あってもごくわずかの場合があります。



何歳で死亡されても支払われる保険で、途中で任意解約された場合には返戻金がある貯蓄型の保険です。解約しない限り、何歳で死亡されても所定の保険金額が支払われますので、保険料は定期保険に比べると割高になります。(短期間で解約された場合には、解約返戻金が全くない場合もあります)



死亡保障の額と満期金が同額の保険です。満期時には、満期金を受け取って保障が終了します。満期金があるため、資産形成目的で加入する人が多いのですが、満期がくると保障が終了してしまうので必要保障は他商品で加入し、第二の保険として加入した方がいかかもしれません。

## ○病気やケガ時の備えには・・・

### 「医療保険」

病気やケガで入院した時に、入院日数に応じて入院給付金や、所定の手術をした場合に手術給付金が受け取れる保険です。入院給付金は、1日1万円や5千円など入院日数によって給付され、日帰り入院からや、5日以上入院からなど、保険会社や商品によって異なります。また、先進医療を受けた場合に一時金が支払われる商品もあります(最近は、入院時に5万円や10万円等の入院一時金が付加できる医療保険も出てきています)。

## ○老後時の備えには・・・

### 「個人年金保険」

主に老後のための貯蓄を目的とした保険です。老後の生活費を年金形式で受け取れるため計画的に利用でき、年金受取期間を10年間などと定めるものを確定年金、生きている限りずっと受け取れるものを終身年金といい、選択できるようになっています。

※以上は、保険の概略を紹介しておりますので、詳細につきましてはお問い合わせください。

## 【お問い合わせ先】

宮崎県医師協同組合

TEL : 0985-23-9100

FAX : 0985-23-9179

## 医師国保組合だより

### 健康診断のご案内

実施期間：令和5年3月末日まで 請求期限：令和5年5月19日まで（必着）

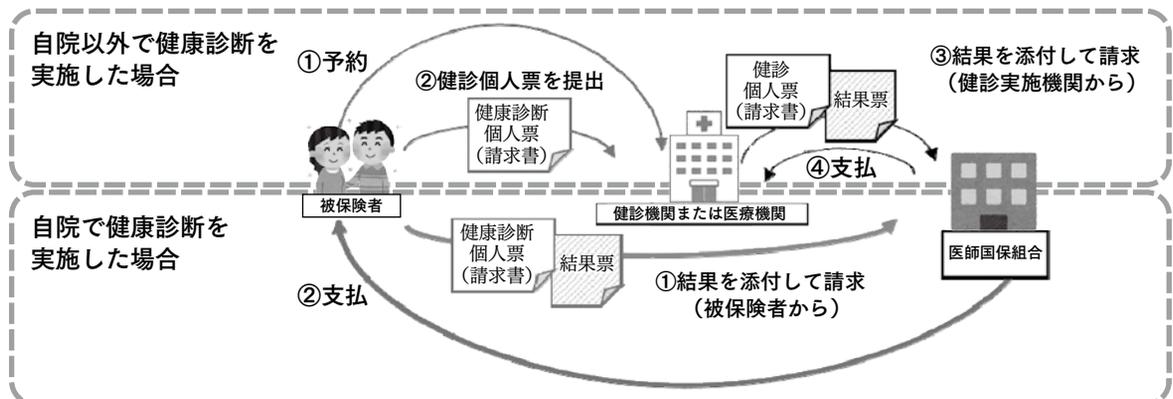
〈対象者〉

組合員・高齢組合員およびその配偶者（被保険者）※配偶者は75歳の誕生日前日まで  
上記以外の被保険者は、年度中に40歳～74歳になる方（年度中に75歳になる75歳未満の方も含む）

- ・ 自院で実施されても健診費用を請求できます。
- ・ 「健康診断個人票」（黄色）の必須検査項目（★印の項目）は必ず実施してください。
- ・ 各医療機関で作成した健康診断結果用紙のコピーを添付してください。  
（検査項目・点数及び検査結果を転記する必要はありません）
- ・ 「健康診断個人票」の質問票及び請求書については必ずご記入ください。

〈実施機関〉

各地域の健診機関並びに医療機関（自院を含む）



### 春の異動シーズンに備えて

#### 1 異動に伴う手続きについて

世帯内のご家族が協会けんぽ等に参加される場合には、資格喪失届が必要です。組合員は事由発生から14日以内に被保険者証を添えて届け出てください。

#### 2 健康保険適用除外申請の手続きについて

医師国保に既にご加入の方は、事業所が法人化する等で健康保険の適用となる場合でも、健康保険適用除外の承認を受けることにより、引き続き医師国保に残ることができます。

健康保険の適用除外承認申請が必要になったときは、事実の発生した日から14日以内に年金事務所に届け出なければなりませんので、まずは当組合までお問合せください。

（問合せ先）宮崎県医師国民健康保険組合  
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地  
TEL：0985-22-6588 FAX：0985-27-6550



## 女性医師の皆様へ

～宮崎県医師会では、妊娠中の医師に  
マタニティ白衣・スクラブ・パンツを貸し出しています～



妊娠されている医師の方が、心地よく快適に過ごせますよう、マタニティ白衣，スクラブ，パンツをご用意いたしました。妊娠後期の短い間の着用ですが，どうぞご利用ください。

医師会員でなくてもお申込みできますので，どうぞお気軽にお問い合わせください。

詳しくは，宮崎県医師会ホームページ  
(<http://www.miyazaki.med.or.jp/>) をご覧ください。



お問い合わせ先  
宮崎県医師会 担当 平川  
TEL 0985-22-5118  
FAX 0985-27-6550





令和5年1月10日(火) 第14回常任理事協議会

医師会関係  
(議決事項)

1. 3/3(金) 令和4年度臨床検査精度管理調査報告会の開催について

日本医師会が行った臨床検査精度管理調査の分析・結果検討を行い臨床検査の質的向上に資することを目的に開催される報告会で、出席者については県臨床検査技師会に依頼をすることが承認された。

2. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎県指定難病審査会委員の推薦について  
→指定難病の支給申請について審査する委員会委員の任期満了に伴い、神経内科及び皮膚科領域の推薦依頼があり、現委員及び専門分科医会の意向を確認し推薦作業を進めることが承認された。

3. 後援・共催名義等使用許可について

①2/22(水) (メディキット県民文化センター)  
宮崎県民生委員児童委員大会の開催及び後援名義の使用許可について  
→民生委員・児童委員活動の充実を目的に開催される大会で、名義後援を行うことが承認された。

4. 1/24(火) (県医) 各郡市医師会長協議会について

議題や当日の流れ、役割分担が確認され

た。また、開催形態については現時点では現地のみとしているが、今後の新型コロナウイルスの感染状況により会長が判断をすることとなった。

5. 令和5年度の特健康診査等の集合契約書に係る提案について

令和4年4月の診療報酬改定を踏まえた委託料単価(基本的な健診項目9,251円、貧血検査231円、心電図検査1,430円、眼底検査1,232円、血清クレアチニン及びeGFR 121円)で、令和5年4月1日の契約締結に向け準備を進めることが承認された。

6. 2/9(木) 都道府県医師会学校保健担当理事連絡協議会の開催について

学校保健のあり方を検討することを目的として開催される協議会で、小牧副会長と高木常任理事の出席が承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 12月末日現在の会員数について

3. 12/14(水)・16(金) (県医) 広報委員会について

4. 12/20(火) (県庁) 県個人情報保護審議会について

5. 12/14(水) 日医地域包括ケア推進委員会について

6. 12/17(土) (県医) かかりつけ医認知症対応力向上研修会について

7. 12/22(木) (県歯科医師会館) 県歯科医師会医療と介護における連絡調整会議について

8. 12/22(木) (県医2階) 医師会立看護学校担当理事連絡協議会について

9. 12/28(水) (宮崎労働局) 労災診療指導委員会について

令和5年1月24日(火) 第15回全理事協議会

医師会関係  
(議決事項)

1. 令和5年花粉情報の協力について

例年通り、宮崎・都城・延岡の定点観測機関及び宮崎大学の協力を得て、花粉観測及び報道機関等への花粉情報提供に協力することが承認された。観測期間は1/31～4/30（情報提供期間は2/1～4/15）。

## 2. 宮崎県感染症発生動向調査事業における指定届出機関の推薦について

感染症発生動向調査事業に協力をする指定届出機関について、インフルエンザ定点医療機関の辞退に伴う推薦依頼があり、1医療機関を推薦することが承認された。

## 3. 本会外の役員等の推薦について

### ①「日常生活自立支援事業契約締結審査会」委員の推薦について

→契約締結能力等に疑義が生じた場合に専門的な見地から審査を行う会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、推薦母体の県精神科医会及び現委員の意向を確認した上で、推薦することが承認された。

### ②HTLV-1母子感染対策協議会委員推薦及び就任について

→HTLV-1母子感染対策が適切かつ円滑に行われるために設置された協議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、県医師会枠で嶋本常任理事、県産婦人科医会及び県小児科医会枠については、各医会に確認の上、推薦をすることが承認された。

### ③治療と仕事の両立支援のための「宮崎県地域両立支援推進チーム」への参集者の推薦について

→病気の方が、治療をしながら仕事を継続するための支援を目的に設置される協議会で、役員交代に伴う推薦依頼があり、産業医担当の吉見常任理事を推薦することが承認された。

## 4. 後援・共催名義等使用許可について

### ①令和4年度日本肝臓学会肝がん撲滅運動

市民公開講座への後援のお願いについて  
→「知っておきたい肝臓病の最新知識」をテーマに、WEB上で開催される市民公開講座で、名義後援を行うことが承認された。

### 5. 5/27(土) (宮日会館) 講師派遣依頼について

県柔道整復師会会員の資質向上を目的に開催する学会への講師派遣依頼があり、県整形外科医会に人選をお願いすることが承認された。

### 6. 2/16(木) (県防災庁舎) 九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の新規個別指導の実施に係る立会いについて

4医療機関を対象に行われる新規個別指導で、嶋本常任理事を立会人として派遣することが承認された。

### (報告事項)

#### 1. 1/11(水) (支払基金) 支払基金審査運営協議会について

#### 2. 1/17(火) (日医) 日医理事会等について

#### 3. 1/17(火) (日医) 都道府県医師会長会議について

#### 4. 1/18(水) 日医地域医療対策委員会について

#### 5. 1/13(金) 医療安全対策セミナーについて

#### 6. 1/16(月)・23(月) (県医) 広報委員会について

#### 7. 1/19(木) (県庁) 社会保険医療担当者の新規個別指導について

#### 8. 1/18(水) (県医) 高次脳機能障がい講演会について

#### 9. 1/20(金) 日医勤務医委員会について

#### 10. 1/19(木) (シーガイア) 病院部会・医療法人部会合同理事会について

#### 11. 1/21(土) (大分) 九医連救急・災害医療担当理事連絡協議会について

#### 12. 1/18(水) (第一宮銀ビル) 県後期高齢者医療広域連合運営懇話会について

#### 13. 1/23(月) (県企業局) 県高齢者虐待防止連絡会議について

#### 14. 1/23(月) (県企業局) 県障がい者虐待防止・

## 権利擁護連絡会議について

15. 1/12(木) (県医) 県子ども救急医療電話相談に関する意見交換会について
16. 1/22(日) (県医) かかりつけ医等発達障害対応力向上研修会について
17. 1/23(月) (県医) 県感染症危機管理研修会について
18. 1/24(火) (九州厚生局宮崎事務所) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
19. 1/14(土) (県医) 保育支援事業全体顔合わせ会について
20. 1/20(金) (県医) 県産婦人科医会HTLV-1母子感染対策事業研修会について
21. 1/21(土)・22(日) (大分) 九州ブロック災害医療研修会について
22. 1/21(土) 自賠責保険研修会について  
医師連盟関係  
(報告事項)
1. 1/17(火) (日医) 日医連執行委員会について

令和5年1月31日(火) 第16回全理事協議会

## 医師会関係

## (議決事項)

## 1. 本会外の役員等の推薦について

- ①宮崎県周産期医療協議会委員の推薦及び就任について  
→周産期医療体制の整備や諸課題について協議をする委員会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、県産婦人科医会長と県小児科医会長の充て職のため、それぞれ医会の了解を得たうえで推薦することが了承された。
- ②宮崎県母子保健運営協議会の委員の推薦及び就任について  
→母子保健事業の総合的、効果的な実施等を目的に設置される協議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、県医師会枠で嶋本常任理事を推薦することと、

県産婦人科医会枠と県小児科医会枠については、それぞれ医会の了解を得たうえで推薦をすることが了承された。

- ③宮崎少年鑑別所視察委員会委員候補者の推薦について  
→少年鑑別所を視察しその運営に関し少年鑑別所の長に対して意見を述べる委員会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、玉置理事を推薦することが承認された。
- ④宮崎県国民健康保険等はり、きゅう及びあん摩マッサージ指圧療養費審査委員会委員(公益代表)の推薦について  
→国民健康保険等のはり、きゅう及びあん摩マッサージ指圧療養費の支給申請を審査するために設置される委員会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き大塚常任理事を推薦することが承認された。
- ⑤宮崎県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会委員の推薦について  
→県民が安心してジェネリック医薬品を使用できる環境を整備すること等を目的に設置される委員会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き地域医療担当の金丸常任理事を推薦することが承認された。
2. 3/18(土) 令和4年度医療事故調査制度に係る「支援団体統括者セミナー」の開催について  
医療事故調査制度による院内調査を行うにあたっての知識・技能を習得するためのセミナーで、金丸常任理事と本会医療事故調査支援委員の所属する医療機関から医師1名、看護師1名に参加していただくことが承認された。
3. 県医師会定例代議員会までのスケジュールについて  
次年度の事業計画と予算、今年度の事業

報告と決算等の承認に向け、3/14(火)及び6/6(火)に法定の理事会に開催すること、また6/17(土)に県医師会定例代議員会を開催すべく準備を進めることが承認された。

#### 4. 3/26(日) (日医) 第153回日本医師会臨時代議員会の開催について

日医監事の河野会長、日医代議員の山村・小牧副会長、吉田・市来常任理事が出席することが承認された。

#### 5. 3/26(日) (日医) 第153回日本医師会臨時代議員会における九州ブロック代表質問について

役員の中で日医に対する質問等があれば、事務局を經由して河野会長に申し出ることとなった。

#### 6. 業務委託について

##### ①令和5年度妊婦及び乳児健康診査に係る委託契約について

→妊婦健診(健診回数14回、計109,030円。その他子宮頸がん健診等)と乳児健診(健診回数1回、6,410円。その他三歳児精密等)の契約締結を県内26市町村に提案することが承認された。また、市町村により自己負担があるところとないところがあるため、自己負担がある市町村に対しては各郡市医師会において働きかけをするよう依頼があった。

②令和5年度妊婦及び乳児健康診査並びに眼科及び耳鼻咽喉科に係る三歳児精密健康診査における審査事務費の契約について→審査事務費の単価を1件当たり52円とする契約締結を県内26市町村に提案することが承認された。

#### 7. 審査委員の推薦について

現委員1名の辞任に伴う推薦依頼で、推薦母体の県内科医会に推薦を依頼することが承認された。

#### 8. 母体保護法の指定申請について

医療機関の申請1件、医師の申請1名を母体保護法指定医師審査委員会の答申通り指定することが承認された。

#### 9. 2・3月の行事予定について

##### (報告事項)

##### 1. 週間報告について

2. 1/25(水) (宮大) 宮大経営協議会・学長選考・監察会議について

3. 1/26(木) (県医) 九州各県学校保健会長及び学校保健担当者連絡会について

4. 1/27(金) (県医) 日医財務委員会について

5. 1/25(水) (県庁) 県個人情報保護審議会について

6. 1/24(火) (県医) 各郡市医師会長協議会について

7. 1/26(木) (九州厚生局宮崎事務所) 社会保険医療担当者の集団的個別指導について

8. 1/25(水) (県歯科医師会館) 県歯科医師会地域医療支援病院等における医科歯科連携推進事業「医療連携会議」について

9. 1/27(金) (県防災庁舎) 県障害者自立支援協議会医療的ケア児等支援部会について

10. 1/29(日) (県医) 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会動画撮影について

11. 1/24(火) (県医) 母体保護法指定医師審査委員会について

12. 1/25(水) (宮崎労働局) 労災診療指導委員会について

13. 1/30(月) (県医) 日医認定産業医制度関係小委員会について

14. 1/27(金) 全国メディカルコントロール協議会連絡会について

##### 医師連盟関係

##### (議決事項)

1. 3/25(土) (東京) 「羽生田たかし君と明日の医療を語る会」開催のお知らせ協力することが承認された。

# 県 医 の 動 き

(2月)

1	日本医学会総会拡大登録委員会 (Web会議) (嶋本常任理事) 県メディカルコントロール協議会総会 (山村副会長) スポーツドクター連盟総会 (Web会議) (大塚常任理事他) 健康スポーツ医学セミナー (Web会議) (会長他)	14	県地域医療対策協議会 (会長他) 第17回全理事協議会 (Web会議) (会長他)
2	日医有床診療所委員会 (Web会議) (会長) 県看護協会新人看護職員研修推進協議会 (池井常任理事) 県肝炎対策懇話会 (小牧常任理事) 勤務医部会理事会 (Web会議) (嶋本常任理事他) 勤務医部会後期講演会 (Web会議) (嶋本常任理事他)	15	自民党県連党紀委員会 (河野委員長) 広報委員会 (荒木常任理事他)
3	全国国保組合協会理事長・役員研修会 (Web 会議) (秦理事長) 県精神科救急医療システム連絡調整委員会 (吉田常任理事他)	16	社会保険医療担当者の新規個別指導 (田畑理事) (日医) 日医医療秘書認定試験委員会 (池井常任理事)
4	母体保護法指定医師研修会 (Web会議) (嶋本常任理事他)	17	全国アイバンク連絡協議会 (Web会議) (日医) 都道府県医師会事務局長連絡会 介護保険に関する主治医研修会 (Web会議) (会長他)
5	日医医療秘書認定試験	18	レジナビFairオンライン宮崎県2023～臨床研修 プログラム～ 産業医研修会 (TV会議) (吉見常任理事他) (福岡) 九州地区医師国保組合連合会理事会 病院部会・医療法人部会医療従事者研修会 (池井常任理事他) (福岡) 九州地区医師国保組合連合会全体協議 会 (山村副理事長他)
6	県障害者施策推進協議会 (山村副会長) 県認知症疾患医療センター合同会議 (Web会 議) (石川常任理事) 県新型コロナウイルス感染症対策協議会 (山村副会長他) 県臨床研修・専門研修運営協議会ワーキング グループ (Web会議) (金丸常任理事)	20	広報委員会 (荒木常任理事他) JMAT・JRAT合同研修会 (Web会議)
7	県ロコモティブシンドローム対策協議会 (大塚常任理事) 第15回常任理事協議会 (会長他)	21	日医監事会 (Web会議) (会長) 日医役員勉強会 (Web会議) (会長) 日医理事打合せ (Web会議) (会長) 国保組合推進連盟代議員会 (Web会議) (秦理事長) 全国国保組合協会理事会 (Web会議) (秦理事長) 日医理事会 (Web会議) (会長) 医師協同組合プロジェクトチーム協議会 (吉田副理事長他)
8	日医年金委員会 (Web会議) (会長) 宮崎東諸県地域医療構想調整会議 (金丸常任理事) 支払基金審査運営協議会 (会長)	22	県国保連合会理事会 (秦理事長) 県国保連合会通常総会 (秦理事長) 労災診療指導委員会 (赤須常任理事他) 産業保健総合支援センター運営協議会 (会長他) 医療機関税制Webセミナー (Web会議) (赤須常任理事)
9	都道府県医師会学校保健担当理事連絡協議会 (Web会議) (小牧副会長他) 県産婦人科医会常任理事会 (Web会議) (嶋本常任理事他)	23	県小児科医会役員会 (Web会議) (高木常任理事)
10	県ナースセンター事業運営委員会 (池井常任理事) (日医) 日医医師会共同利用施設検討委員会 (市来常任理事) 認知症サポート医・かかりつけ医スキルアッ プ研修会 (石川常任理事)	24	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 (嶋本常任理事)
11	(熊本) 日本プライマリ・ケア連合学会九州支 部総会・学術大会 (玉置理事) (大分) 九医連常任委員会 (会長) (大分) 九医連各種協議会 (山村副会長他)	25	日医医療情報システム協議会 (Web会議) (荒木常任理事他) 医神祭 (会長他) 創立134周年記念医学会/県民健康セミナー (Web 会議) (会長他)
12	(熊本) 日本プライマリ・ケア連合学会九州支 部総会・学術大会 (玉置理事) (日医) 母子保健講習会 (嶋本常任理事他) 緩和ケアチーム研修会 (Web会議) (石川常任理事)	26	日医医療情報システム協議会 (Web会議) (荒木常任理事他) (東京) 日本小児科医会社会保険全国委員会 (高木常任理事)
13	県社会福祉審議会 (会長) 県防災会議 (落合理事) 県循環器病対策推進協議会 (金丸常任理事) 救急災害医療対策委員会 (Web会議) (会長他)	27	県公害健康被害認定審査会 (峰松理事) 医師国保組合理事会 (秦理事長他)
		28	都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担 当理事連絡協議会 (Web会議) (山村副会長他) 医協理事会 (河野理事長他) 医協理事・運営委員会合同協議会 (河野理事長他) 第18回全理事協議会 (会長他)

# ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和5年2月1日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み・お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

## 1. 求職者登録数 7人

希望診療科目	求人数	常 勤	非常勤
内 科	4	1	3
放 射 線 科	1	1	0
検 診	1	0	1
老 健	1	0	1

## 2. 斡旋成立件数 90人

	合 計
令 和 4 年 度	5
平成16年度から累計	90

## 3. 求人登録 90件 314人

(人)

募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤
内 科	87	71	16	消 化 器 外 科	3	2	1
外 科	26	21	5	乳 腺 外 科	3	3	0
整 形 外 科	31	24	7	健 診	3	2	1
精 神 科	9	8	1	泌 尿 器 科	5	3	2
脳 神 経 外 科	10	6	4	産 婦 人 科	1	1	0
循 環 器 科	11	8	3	検 診	3	1	2
消 化 器 内 科	16	14	2	皮 膚 科	4	2	2
麻 酔 科	12	9	3	婦 人 科	2	2	0
眼 科	9	7	2	呼 吸 器 外 科	4	3	1
放 射 線 科	9	8	1	人 工 透 析	8	6	2
小 児 科	4	2	2	リウマチ科	0	0	0
呼 吸 器 科	2	2	0	臨 床 病 理 科	1	1	0
在 宅 診 療	2	2	0	形 成 外 科	2	1	1
総合診療科・内科	6	5	1	診 療 科 目 不 問	3	3	0
脳 神 経 内 科	7	5	2	緩 和 ケ ア	1	1	0
呼 吸 器 内 科	9	8	1	内 分 泌 糖 尿 病 内 科	2	2	0
リハビリテーション科	5	5	0	そ の 他	5	5	0
救 命 救 急 科	9	9	0	合 計	314	252	62

## 求 人 登 録 者 ( 公 開 )

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮崎市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外,整,放,麻,内	9	常勤・非常勤
160017	医)宮崎博愛会 さがら病院宮崎	宮崎市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	呼内,神内,総診,呼外,病理,乳外,整,麻,代内	9	常勤
170048	社医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内,放	2	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	社医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	社医)善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	内,外,救急,呼外,婦人,整,麻	12	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフロラみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230144	宮崎医療生活協同組合	宮崎市	呼内,消内,健診,麻	7	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮崎市	内,外,整,脳外,リハ,麻,救急,緩和	13	常勤
230148	医)コムロクリニック	宮崎市	美外,形成外,外,麻(いずれか)	2	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	3	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放(いずれか)	1	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230194	医)財団シロアム 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	高岡町	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230213	医)聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透(いずれか)	1	常勤
230214	医)聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,リハ(いずれか)	1	常勤
230215	医)社団紘和会 平和台病院	宮崎市	糖内,消内	3	常勤
230217	医)けいあい かいクリニック	宮崎市	内,整	4	常勤・非常勤
230220	医)社団 宮崎医療センター病院	宮崎市	総診	1	常勤
230224	医)雅会 河野整形外科	宮崎市	内	1	非常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	外,脳外,内,透,眼皮,放,腎内,総診,泌,整	22	常勤・非常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	呼内,総診,消内,腫内	4	常勤
190092	都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	5	常勤
210114	一社)藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	消内,消外,乳外	5	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230162	一社)藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,透,循内,救急,放,呼内	12	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都城市	内	1	常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三股町	内	1	常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	内	1	常勤・非常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230199	医)社団アブラムクラブ ベテスタクリニック	都城市	糖内,心内	2	常勤
230208	医)社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三股町	内	1	常勤・非常勤
230216	一社)藤元メディカルシステム大悟病院	三股町	精,内	2	常勤
160012	医)伸和会 延岡共立病院	延岡市	内	2	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延岡市	精	1	常勤
160034	医)健寿会 黒木病院	延岡市	消外,消内	2	常勤
190086	医)早田病院	延岡市	消内,循内	2	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延岡市	産婦,内,小	3	常勤・非常勤
200102	延岡市医師会病院	延岡市	消内,消外,内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延岡市	内,小	2	非常勤
230186	医)隆誠会 延岡保養園	延岡市	精	1	常勤
230189	特医)健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌,透	4	常勤・非常勤
230203	医)杉杏会 杉本病院	延岡市	内	1	非常勤
230210	医)あつきこころ 大貫診療所	延岡市	内,外(いずれか)	1	常勤
230219	延岡リハビリテーション病院	延岡市	内,整,リハ	3	常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日向市	外,整	4	常勤
210111	福)恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門川町	内,外,リハ	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内,整	2	常勤
230200	医)おざきメディカルアソシエイツ 尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医)洋承会 今給黎医院	日向市	内,循内	2	常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内,麻,外,眼,健診	5	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	総診,救急,呼内,循内,神内,整	12	常勤・非常勤
230223	医)聖山会 川南病院	川南町	内,腎内	3	常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西都市	内,外,整,総診,透	5	常勤
230204	医)昇山会 上山医院	西都市	内,整(いずれか)	1	非常勤
150002	社医)慶明会 おび中央病院	日南市	内	4	常勤・非常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串間市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内,外,整,在宅	4	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内,外,総診,消内,腎内	5	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230188	医)春光会 春光会記念病院	日南市	外,内	5	常勤・非常勤
230211	医)秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串間市	不問	1	常勤
230221	医)文誠会 百瀬病院	日南市	内,外,消内	6	常勤・非常勤
230222	宮崎県立日南病院	日南市	消内	2	常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小林市	内,皮	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	救急,総診,放,麻	6	常勤
180076	医)けんゆう会 園田病院	小林市	外,循内,整,脳外	9	常勤・非常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小林市	整,内,脳外	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわかセンター	小林市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 和田クリニック	小林市	内	1	常勤
230197	医)友光会 整形外科押領司病院	小林市	整,内,麻	5	常勤・非常勤
230218	医)養気会 池井病院	小林市	腎内	1	常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外(いずれか)	1	常勤

## 病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡, 賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和5年2月1日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ: 2,022.17㎡ (612.77坪)	所有者: 児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地: 2,280.83㎡ (691.16坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 計 1,400.48㎡ (424.38坪) ※別途駐車場あり(20台)	所有者: 西都市西児湯医師会員 図師医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地: 4,449㎡ (1,348.18坪) 建物: 鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり(70台)	所有者: 児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 宮崎市上野町5-1 土地: 1,260.55㎡ (381.98坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根5階建 1階 378.60㎡ 2階 391.80㎡ 3階 374.04㎡ 4階 374.04㎡ 5階 363.13㎡ 計1,881.61㎡ (570.18坪) ※駐車場あり(22台) 2階は事務所 3階は宿舍・寮8室使用可 4階は貸倉庫	所有者: 宮崎市郡医師会員 谷口 二郎 たにぐちレディースクリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地: 1,654.58㎡ (501.38坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 計 829.40㎡ (251.33坪) ※駐車場あり(50台)	所有者: (医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地: 875㎡ (265.15坪) 建物: 木造瓦葺平屋建 1階 114㎡ (34.54坪) ※駐車場あり(20台)	所有者: 西臼杵郡医師会員 後藤医院跡
	③ 宮崎市柳丸町32 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階部分の約半分のスペース: 213.68㎡ (64.75坪) (1階は老人ホームと併設, 2・3階は老人ホーム) ※駐車場あり(14台)	所有者: 宮崎市郡医師会員 野辺医院跡

### ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し, 求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は, 月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は, 所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は, 「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

### ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 (宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyout@miyazaki.med.or.jp

## 日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

### 宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、裏面の原稿用紙もご利用になれます。



## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和5年2月24日

3		月			
1	水	16:00 日医地域医療対策委員会 (Web会議) 19:00 特定健康診査等従事者研修会 (Web会議)	17 金	16:00 (大分) 九医連事務局長連絡協議会 (※事務局) 18:30 県外科医会冬期講演会 19:00 県感染症医療提供体制ワーキンググループ会議 (Web会議)	↑
2	木				
3	金	16:00 (福岡) 全国国保組合協会九州支部総会			
4	土	9:00 ICLS指導者養成ワークショップ 15:00 (日医) 日医未来医師会ビジョン委員会 15:25 県産婦人科医会ひむかセミナー	18 土	13:00 日医医療事故調査制度に係る支援団体統括者セミナー (Web会議) 14:00 自民党県連総務・支部長合同会議 16:00 (福岡) 九州医師協同組合連合会購買・保険部会, 職員研修会	↑
5	日	8:30 ACLS研修会 9:00 県産婦人科医会ひむかセミナー			
6	月	19:00 外国人患者対応に関する研修会 (Web会議)			
7	火	19:00 第16回常任理事協議会	20 月	13:30 (東京) 全国国保組合協会通常総会 19:00 県医学会役員会 (Web会議)	国保審査
8	水	16:00 支払基金審査運営協議会 17:30 県アイバンク協会理事会 (Web会議)	21 火	(春分の日)	
9	木	19:00 県産婦人科医会全理事会 (Web会議) 19:00 県リハビリテーション専門職協議会連絡会議	22 水	10:00 (日医) 日医監事会 11:00 (日医) 日医役員勉強会 13:00 (日医) 日医理事打合会 14:00 (日医) 日医理事会 19:00 広報委員会	
10	金	15:00 (日医) 日医公衆衛生委員会 18:00 (小林保健所) 西諸地域医療構想調整会議 19:00 医師国保組合通常組合会	23 木	19:00 県臨床研修・専門研修運営協議会 (Web会議) 19:00 医療安全対策Webセミナー (Web会議)	↓
11	土	13:30 臨床検査精度管理調査報告会 (Web会議)			
12	日				
13	月	14:30 県がん診療連携協議会 16:00 宮大医学部附属病院医師研修管理委員会	24 金	16:00 県知事と県経済団体協議会との意見交換会 18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 19:00 県外科医会理事会 (Web会議)	社保審査
14	火	19:00 第4回理事会 終了後 第19回全理事協議会			
15	水	13:30 日医医療経営検討委員会 19:00 広報委員会	25 土	16:00 (東京) 全国医師会医療秘書学院連絡協議会常任委員会・運営委員会	↓
		19:00 県医療勤務環境改善支援センター運営協議会 19:00 医学会誌編集委員会 (Web会議)			
16	木	13:30 県国民健康保険運営協議会 19:00 県産婦人科医会働き方改革委員会 (Web会議) 19:00 コロナ5類変更への対応に関する理事協議 (Web会議)	27 月	19:00 公衆衛生・感染症委員会 (各都市医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会) (Web会議)	↓
		13:30 宮大経営協議会 14:30 県地域医療オリエンテーション 15:00 日医医師会共同利用施設検討委員会 (Web会議) 15:00 医療従事者の安全確保に関する都道府県医師会担当理事連絡協議会 (Web会議)			
17	金	13:30 宮大経営協議会 14:30 県地域医療オリエンテーション 15:00 日医医師会共同利用施設検討委員会 (Web会議)	28 火	18:30 医協理事会 19:00 医協理事・運営委員合同協議会 (Web会議) 終了後 第20回全理事協議会 (Web会議)	↓
		15:00 医療従事者の安全確保に関する都道府県医師会担当理事連絡協議会 (Web会議)			
			29 水	14:30 日医地域医療対策委員会 (Web会議) 15:00 労災診療指導委員会	
			30 木	14:00 県健康づくり協会理事会	
			31 金		

※都合により、変更になることがあります。  
行事予定は県医師会のホームページからご覧いただけます。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和5年2月24日

4		月				
1	土		17 月			
2	日	10:00	日医学校保健講習会 (Web会議)	18	火	10:00 (日医) 日医監事会 13:00 (日医) 日医理事打合せ 14:00 (日医) 日医理事会
3	月					
4	火	19:00	第1回全理事協議会	19	水	
5	水			20	木	
6	木	14:00	日医有床診療所委員会	21	金	11:00 (東京) 日本医学会総会 19:00 県外科医会理事会
7	金					
8	土	14:00	All Miyazaki研修医スタートアップセミナー	22	土	8:30 (東京) 日本医学会総会 15:00 県産婦人科医会春期定時総会・学術講演会
9	日		(県議会議員選挙投票日)	23	日	8:30 (東京) 日本医学会総会
10	月			24	月	
11	火	19:00	第2回全理事協議会 (Web会議)	25	火	18:30 医協理事会 19:00 第1回常任理事協議会 19:00 未来の医療を語るオールみやざき交流会
12	水					
13	木	14:00	都道府県医師会広報担当理事連絡協議会 (Web会議)	26	水	15:00 労災診療指導委員会
		19:00	県産婦人科医会合同理事会			
14	金	14:00	(日医) 日医勤務医委員会	27	木	19:00 全国学校保健・学校医大会実行委員会 (Web会議)
15	土			28	金	
16	日			29	土	(昭和の日)
				30	日	

※都合により、変更になることがあります。  
行事予定は県医師会のホームページからご覧いただけます。

# 医 学 会 ・ 講 演 会

## 日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

※新型コロナウイルス感染症拡大のため，中止や延期となる場合があります。  
参加前には開催の有無を主催元にお確かめいただきますようお願いいたします。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
特定健康診査等従事者研修会 (Web講習会) 3月1日(水) 19:00~20:30 県医師会館 ※受講は現地またはWeb	CKD診療の新たな展開 宮崎大学医学部 医療環境イノベーション講座 特別教授 藤元 昭一	75 (1.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
南那珂医師会生涯教育医学会 (Web講習会) 3月2日(木) 19:30~20:30 南那珂医師会 ※受講はWebのみ	宮崎県におけるがん治療と妊孕性温存助成事業について 宮崎大学医学部 医学科発達泌尿生殖医学講座 産婦人科学分野 教授 桂木 真司 ARTレディスクリニックやまうち 院長 山内 憲之	4 (1.0)	◇主催 宮崎大学医学部産婦人科 ◇共催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411
日向市東臼杵郡医師会学術講演会 (Web講習会) 3月3日(金) 19:00~20:30 ホテルベルフォート日向 ※受講は現地またはWeb	急性期脳梗塞に対する血栓回収療法 和田病院 脳神経外科 部長 二見 宗智	32 (0.5)	◇主催 ※日向市東臼杵郡医師会 ◇共催 第一三共(株) ☎0982-52-0222
	脳卒中に対する抗血小板剤の役割～最近の話題～ 宮崎大学医学部 臨床神経科学講座 脳神経科学分野 大田 元	43 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
<b>第3回Case Conference of 県宮総診 (Web講習会)</b> 3月4日(土) 14:00~17:00 若草hutte & co-ba miyazaki ※受講は現地またはWeb	<b>症例検討</b> 県立宮崎病院 総合診療科 医長	28 (3.0)	◇主催 宮崎大学医学部地域医療・総合診療医学講座/県立宮崎病院総合診療科 (連絡先) 宮崎大学医学部地域医療・総合診療医学講座 ☎0985-85-9809
<b>令和4年度児湯医師会在宅医療従事者のための研修会 (Web講習会)</b> 3月6日(月) 19:00~20:00 児湯医師会館 ※受講は現地またはWeb	<b>多職種連携による在宅緩和医療・ケアを考える</b> タナカ在宅クリニック 院長	80 (1.0)	◇主催 ※児湯医師会 ☎0983-22-1641
<b>宮崎市郡産婦人科医会3月例会学術講演会 (Web講習会)</b> 3月6日(月) 19:00~20:00 宮崎市郡医師会館 理事室 ※受講はWebのみ	<b>子宮筋腫・子宮内膜症の薬物療法・手術療法            ~私はこうしている~</b> 鹿児島市医師会病院 婦人科 部長	67 (1.0)	◇主催 宮崎市郡産婦人科医会 ◇共催 あすか製薬(株) (連絡先) ※宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100
<b>令和4年度外国人患者対応に関する研修会 (Web講習会)</b> 3月6日(月) 19:00~20:30 県医師会館 ※受講はWebのみ	<b>医療機関における外国人患者受入れ(応用編)インバウンド対応</b> <b>~患者の文化・風習等の違いによる注意点と事例, クリニック・病院が準備すべき対応策について~</b> メディフォン株式会社 医療・法人本部マネージャー	4 (1.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
<b>西臼杵地区学術講演会</b> <b>(Web講習会)</b> 3月7日(火) 19:00~20:10 ホテルグレイトフル 高千穂1階会議室 ※受講は現地またはWeb	<b>2型糖尿病+CKD重症化予防アプローチ</b> <b>~SGLT2阻害薬を中心に~</b> 高千穂町国民健康保険病院 副院長 佐藤 祐二	76 (1.0)	◇主催 西臼杵郡医師会 ◇共催 ※田辺三菱製薬(株) ☎0985-32-9205
<b>佐土原地区医師会学術講演会</b> <b>(Web講習会)</b> 3月8日(水) 19:00~20:00 シーガイアコンベンションセンター 4階「アイボリー」 ※受講は現地またはWeb	<b>心房顆粒からARNi開発,そして新たな降圧治療へ</b> 宮崎大学フロンティア科学総合研究センター 教授 加藤 文司	74 (1.0)	◇主催 佐土原地区医師会 ◇共催 ※ノバルティスファーマ(株) ☎080-3495-1982 大塚製薬(株)
<b>宮崎市郡医師会産業医研修会</b> <b>(Web講習会)</b> 3月11日(土) 14:30~16:30 宮崎市郡医師会館 講堂 ※受講は現地またはWeb	<b>職場における糖尿病対策</b> <b>~新しい薬剤の使い方と有効な指導についても~</b> 日南市立中部病院 病院長 中津留 邦展	4 (2.0)	◇主催 ※宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100
<b>第68回宮崎県スポーツ学会</b> 3月11日(土) 15:20~19:00 JA-AZMホール	<b>アスリートのメディカルサポート</b> 国立スポーツ科学センター 副センター長 スポーツメディカルセンター長 中嶋 耕平	10 (0.5)  61 (0.5)	◇主催 宮崎県スポーツ学会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 ◇後援 宮崎県医師会 (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986

名称・日時・場所	演 題	CC (単位 がん検診)	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎県医師会東洋 医学会学術講演会 (Web講習会) 3月11日(土) 17:30~19:00 KITENビル8階 コンベンションホ ール「大会議室」 ※受講は現地また はWeb	こどもの不登校への東洋医学的アプローチ 鹿児島大学 医歯学域医学系医歯学総合研究科 健康科学専攻 国際島嶼医療学講座 (プロジェクト講座) 准教授 網谷 真理恵	70 (1.5)	◇主催 宮崎県医師会東洋医学会 ◇共催 ㈱ツムラ ☎0985-28-9663
西都市西児湯医師 会学術講演会 (Web講習会) 3月16日(木) 19:00~20:10 西都市西児湯医師 会館 ※受講は現地また はWeb	地域まるごとケア 在宅医療という選択肢 都農町国民健康保険病院 院長 宮崎大学医学部 地域包括ケア総合診療医学講座 准教授 桐ヶ谷 大淳	80 (1.0)	◇主催 ※西都市西児湯医師会 ☎0983-43-1687 ◇共催 西都市西児湯内科医会 ◇後援 西都市 西都市社会福祉協議会 西都市北地区地域包 括支援センター 西都市南地区地域包 括支援センター
第38回宮崎県リウ マチ研究会 第31回宮崎リウマ チのケア研究会 (Web講習会) 3月18日(土) 16:20~18:00 MRTmicc 2階ダ イヤモンドホール ※受講は現地また はWeb 参加費:1,000円	Difficult to treat(D2T)RAとその対応を考える ~新規治療法の紹介を含めて~ 戸畑総合病院 病院長 齋藤 和義	61 (1.0)	◇主催 宮崎リウマチ研究会 /宮崎リウマチのケア 研究会 ◇共催 ※エーザイ(株) ☎070-8795-1073 あゆみ製薬(株)
医療安全対策Web セミナー (Web講習会) 3月23日(木) 19:00~20:30 県医師会館 ※受講はWebのみ	医療機関におけるハラスメント対策 ~働きやすい職場環境のために~ SOMPOリスクマネジメント(株) 医療・介護コンサルティング部 上級コンサルタント 能村 仁美	0 (1.5)	◇主催 ※宮崎県医師協同組合 ☎0985-23-9100 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
西臼杵郡医師会講演会 (Web講習会) 4月20日(木) 19:00~20:00 ホテルグレイトフル高千穂 ※受講は現地またはWeb	不眠症治療の新展開 ~睡眠薬出口戦略のその先を目指して~ 琉球大学医学研究科 精神病態医学講座 准教授 高江洲 義和	20 (1.0)	◇主催 西臼杵郡医師会 ◇共催 ※エーザイ(株) ☎070-8795-1073
令和5年度延岡内科医会総会・学術講演会 (Web講習会) 4月21日(金) 19:00~20:15 エンシティホテル延岡 ※受講は現地またはWeb	COVID19渦でのCOPD/ACOの治療戦略 ~循環器疾患併存も考慮して~ 国際医療福祉大学三田病院 呼吸器内科部長 望月 太一	79 (1.0)	◇主催 延岡内科医会 ◇共催 アストラゼネカ(株) ◇後援 延岡医学会 (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
第202回宮崎県眼科医会講習会 4月22日(土) 16:00~19:00 KITENビル8階 大会議室 参加費:3,000円	抗VEGF療法のより良い投与レジメンを求めて ~日常診療で見つけた研究の芽をカタチに~ 山口大学医学部附属病院 臨床研究センター 講師 湧田 真紀子	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 参天製薬(株) バイエル薬品(株)
	明日から変わるドライアイ診療 実践TFOD/TFOT 京都府立医科大学 病院教授 横井 則彦	36 (1.0)	
西臼杵郡医師会学術講演会 (Web講習会) 4月25日(火) 19:00~20:00 エンシティホテル延岡 ※受講はWebのみ	心不全治療に関して(仮) 宮崎県立延岡病院 循環器内科 主任部長 山本 展誉	24 (1.0)	◇主催 西臼杵郡医師会 ◇共催 ※日本ベーリンガーインゲルハイム(株) ☎080-8754-5398

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
令和5年度宮崎県 小児科医会総会・ 春季学術講演会 5月28日(日) 13:30~17:05 県医師会館	先天性心疾患術後患者と運動 宮崎大学医学部 小児科 兒玉 祥彦	3 (0.5)	◇主催 ※宮崎県小児科医会 ☎0985-23-9100
	川崎病のトピックスと当院における急性期治療の変遷 について 宮崎県立宮崎病院 小児科 中谷 圭吾	28 (0.5)	
	新型コロナウイルス感染症の現状と展望 宮崎大学医学部 内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野 教授 宮崎 泰可	45 (1.0)	
	こども・医療政策の変曲点~2023年~ 日本小児科医会 会長 的場医院 (東京都) 伊藤 隆一	12 (1.0)	

-----  
あなたできますか？ (解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
d	d	b, d	b	d	d	e	b, c	c, e	b

お知らせ

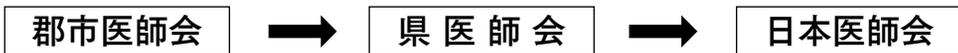
**勤務医・研修医の先生へお知らせ  
～春の異動シーズンに備えて～**

春の異動シーズンが近づいて来ました。

勤務先が変わる、初期研修を終えて新たに勤務医としてスタートする（＝会員区分が変わりま  
す）、住所が変わる場合は、**異動の届出**が必要です。所属の郡市医師会にご連絡のうえ、異動報告  
書を所属の郡市医師会にご提出ください。

◆異動報告書の流れ

届出用紙は本人控えを含む4枚複写になっており、所属郡市医師会にご提出いただければ県医  
師会、日本医師会の異動報告も完了します。



◆勤務医会員の日本医師会費

令和5年4月から、B会員の会費が卒後5年まで無料になります！

A2会員も減免となります！

会員区分	年会費	年会費 卒後5年まで
B 医師賠償責任保険…非加入	28,000円	0円
A2 医師賠償責任保険…加入	年齢30歳以下 39,000円	年齢30歳以下 15,000円
	年齢31歳以上 68,000円	年齢31歳以上 40,000円

※毎年4月1日現在の年齢が基準となります。年会費は3期に分けて徴収します。

所属の郡市医師会が変わる場合は手続きが少し複雑になりますので、宮崎県医師会が手続きのサ  
ポートをいたします。サポート受付窓口までお気軽にご連絡ください。

**県医師会サポート受付窓口 TEL 0985-22-5118（総務課・経理課）**

## 【医師会員のメリット】

### 1 医師資格証（担当：総務課）

この資格証（ICカード）で、医師免許証の原本（B4サイズ）と同様に、医師の資格確認ができます。医師資格証があれば、新たに医療機関に勤務する場合や勤務先が変更になる場合、大変便利です（厚生労働省も正式に認めています）。会員は、初回および5年ごとの発行手数料が無料です。※非会員は、初回発行手数料5,500円（令和4年以降新規医師免許取得者除く）および5年ごとの更新手数料5,500円がかかります。



### 2 日本医師会医師賠償責任保険制度（担当：総務課）

医師賠償責任保険制度は、万一医療事故が発生し、紛争にまで発展した場合、各郡市医師会および県医師会において相談に応じ、紛争解決を図るシステムです。

### 3 日本医師会医師年金（担当：経理課）

医師年金は、会員のための終身年金です。64歳6か月未満であればいつでも加入でき、掛け金の増減も自由にできます。予定利率1.5%（R3年度）、手数料は保険料の0.25%と少額で、効率的に資産運用されています。

### 4 グループ保険（担当：医師協同組合・経理課）

会員ご本人と配偶者まで加入できる団体定期保険です。特長は、スケールメリットを生かした割安な保険料です。万一（死亡・高度障害）の場合、最大4,000万円と大きな保障が得られることに加え、1年ごとの収支計算により剰余金が出た場合には、配当金の支払いがあるため保険料の実質負担が更に軽減されます。

### 5 専門医共通講習（担当：学術広報課）

専門医（日本専門医機構）更新に必要な「共通講習単位」が取得できる本会主催の研修会を、無料で受講できます。また医師会で単位の管理を行うため、本会にお問い合わせいただくことで、取得単位の確認を容易に行うことができます。

### 6 女性医師等支援（担当：地域医療課）

#### (1) 研修会時無料託児サービス

県医師会館で開催される研修会や講演会に、時間を気にせずゆっくり参加していただくため、保育士が先生のお子様を県医師会内の託児ルームでお預かりします。

#### (2) 保育支援サービス

急な残業や出張が入ったとき、お子様が病気（病気回復期）だが仕事が休めないとき、美容室に行ってリフレッシュしたいときなどに、保育サポーターが自宅などでお子様をお預かりします。サービス利用にあたっては、事前に先生に合った保育サポーターをマッチングします。

#### (3) 女性医師復職・キャリアアップ支援

女性医師の復職・再研修・キャリアアップを支援する医療機関および復職・再研修・キャリアアップを希望する女性医師を支援しています。

#### (4) 女性医師相談窓口

女性医師が抱えるさまざまなお悩みに、女性医師コーディネーターが直接ご相談をお受けします。

#### (5) マタニティ白衣・スクラブ・パンツの無料貸し出し

妊娠中の医師が心地よく快適に過ごせるマタニティ白衣（2着）、スクラブ・パンツ（3着）を貸し出します。

### 7 医師国民健康保険組合（TEL 0985-22-6588）

非常勤などで国保が適用となる会員とご家族が加入できます。市町村国保と比較して保険料が安く健診などの保健事業が充実しており、医師にメリットの多い健康保険です。

## 【医師協同組合のご案内】

### ◆ 便利な「共同購買事業」

#### 1 書籍購入のメリット

- 医学書や一般図書などの購入は、10%割引になります。
- 1冊のご注文も可能です。
- 医療機関以外のお届け先指定も可能です。

#### 2 メディカルカードのメリット

- 年会費は永年無料です。
- 宮崎信販と提携したカードで、県内300店舗以上の提携店で、割引があります。

### ◆ 勤務医が加入しやすい「休診共済・生命共済」

- 医師の診査は不要で、簡単な告知のみで加入できます。
- 払込方法を年払いにすると保険料が1か月分割引となります。  
(支払額が11か月分で済みます) ※年払いは年1回、4月の引き落としです。
- 保険料や保険金額は、年齢などによって変動します。

#### 【休診共済】病気やケガによる就業不能時の休業損害を補償します。

	日額補償	7,000円	14,000円	21,000円
月額保険料	25歳	1,200円	2,400円	3,600円
	35歳	1,500円	3,000円	4,500円
	45歳	1,800円	3,600円	5,400円

#### 【生命共済】死亡・重度障害となった場合にお支払いします。

	補償額	300万円	600万円	1,000万円
月額保険料 (男性)	25歳	480円	820円	1,150円
	35歳	580円	1,150円	1,910円
	45歳	1,120円	2,120円	3,520円
月額保険料 (女性)	25歳	350円	640円	850円
	35歳	480円	920円	1,430円
	45歳	760円	1,500円	2,500円

※補償額は、50万円から2,000万円までの10種類から選択できます。

医師協同組合 TEL 0985-23-9100

### ◇ ホームページ

宮医協

検索

<http://www.zen-ikyo.or.jp/miyazaki/>

## 診療メモ



## 気管支喘息について

国立病院機構 宮崎東病院 呼吸器内科 松 元 信 弘

気管支喘息は最もコモンな呼吸器疾患のひとつで、呼吸器疾患を専門とする医師以外の先生方も気管支喘息を併存疾患とする患者さん方を日常的に診療しておられると思います。実際、過去に本邦で実施された調査では、気管支喘息の有症率は10%前後、有病率は5%前後と報告されています。

気管支喘息は明確な診断基準が定められていない疾患で、非常に典型的な臨床症状と経過があれば、一般の方でもその診断が容易であることが多い一方、非典型的な臨床症状と経過の場合には呼吸器専門医であってもその診断に難渋することが多く、そのような場合にはなかなかやっかいです。

気管支喘息に特徴的な病態は、慢性気道炎症と気道過敏性による可逆的な気道閉塞です。慢性気道炎症の原因は多くの場合、吸入アレルギーに対するアレルギー性炎症で、好酸球を主体とした炎症を気道周囲にきたしています。気道過敏性とはわずかな刺激で気道症状が誘発されることで、冷気を吸い込むと咳が出やすい、季節の変わり目に咳や痰が増える、上気道炎後に長く咳・痰が続くなどは気道過敏を表しています。

気管支喘息に特徴的な症状は、咳嗽・喀痰、息苦しさ、喘鳴などの呼吸器症状に動揺性が認められること、つまり良いときと悪いときがあるということです。年間を通して症状に季節性がある、夜間や早朝に悪化する傾向が強いなど日内変動があることがよく知られています。気

管支喘息とよく比較される呼吸器疾患として慢性閉塞性肺疾患（COPD）は対照的で、こちらは基本的には呼吸器症状の動揺性には乏しく、労作時の息切れが特徴的な呼吸器症状です。すなわち、COPDの患者は同じ程度の労作を行うと、同じ程度の息切れを呈します。非発作時には、症状に乏しく、かつ呼吸機能検査結果が正常範囲内であることもよくある気管支喘息の患者とは対照的です。

気管支喘息患者には処方の際に注意を要する薬があります。まず、β遮断薬です。β遮断薬は気道平滑筋収縮を促すため、気管支喘息患者に使用すると致命的な気道収縮発作をきたす場合があります。β遮断剤には、血圧を下げる、心拍数を抑制する、眼圧を下げるなどの効果があるため、循環器疾患、緑内障を有する患者ではよく使用される薬剤だと思えますが、基本的には使用しないほうが無難です。気道平滑筋の収縮にかかわるのは主にβ2受容体とされており、β1選択性の高いβ遮断剤もありますが、気管支喘息患者へは慎重投与となっています。次にアスピリン喘息患者へのアスピリン、その他のNSAIDs投与です。気管支喘息患者の10%ほどはアスピリン喘息であるとされており、アスピリンやその他のNSAIDs投与により致死的な喘息発作を生じることがあります。重篤なアスピリン喘息患者では副鼻腔炎を有していることが多いといわれていますが、実際気管支喘息患者がアスピリン喘息かどうかを判断すること

は難しく、アスピリン喘息患者として対応したほうがよいと思います。このような場合、アセトアミノフェンがよく用いられます。また、時々経験するのが高齢者の腰痛などに対する湿布薬で喘息コントロールが悪化している症例です。患者も湿布薬と呼吸苦の関連に気づいていないことが多く、湿布を処方した先生を再診せず内科を初診することが多いため、意識して問診する必要があります。

咳喘息 (Cough Variant Asthma, CVA) について

咳喘息はその名前のとおり、慢性的な咳嗽の原因として胃食道逆流 (GERD)、上気道炎後の咳嗽、後鼻漏などと並んで大きな位置を占めています。咳喘息は気管支喘息の亜型であり基本的な病態は気管支喘息と大きな違いはありません。古典的な気管支喘息患者より軽度ですが、咳喘息患者も気道過敏性は有しています。さらにピークフロー値や1秒量などの呼吸機能検査値は正常から正常下限をやや下回る程度であることが多いものの、健常者に比較すると有意に低値で、古典的な気管支喘息患者のように日内変動が大きいことも確認されています。やはり、アレルギーによる慢性気道炎症と気道過敏性に伴う可逆性のある気道閉塞が咳喘息の重要な病態であることには議論の余地はありません。最近の研究では、トウガラシの辛みの主成分であり、咳嗽誘発物質であるカプサイシンに対する咳嗽誘発の閾値が咳喘息患者では非常に低いことが示唆されています。気管支喘息の慢性気道炎症と気道過敏性に伴う気道収縮が、咳嗽閾値が低く咳嗽が出やすい咳喘息患者の咳嗽発作の引き金となっている可能性が示唆されます。好酸球は咳喘息患者の気管支肺胞洗浄液や喀痰、気道粘膜で有意に増多しており、好酸球性気道炎症を反映する呼気中一酸化窒素 (FeNO) も有意に上昇していることが知られています。気管支喘息の気道炎症における中心的役割を持つ

のが好酸球であり、咳喘息においてもそれは同様に慢性気道炎症の重要な要因のようです。

咳喘息の病態に関して、アトピー素因を有することが気管支喘息の患者さんではよくありますが、咳喘息でも同様にアレルギーに対する血清特異的IgEや一般的なアレルギーに対する皮膚テストの陽性率は40から80%と報告されており、これは気管支喘息患者における陽性率と同様です。気管支喘息患者の症状の特徴として、呼吸器症状の動揺性ということを上述しましたが、咳喘息における季節性の症状増悪は古典的な気管支喘息患者よりも有意に頻度が高いことが報告されています。

気管支喘息では慢性気道炎症によって上皮下の基底膜肥厚やゴブレット細胞 (杯細胞) 過形成、血管新生などの気道リモデリングによって気道壁肥厚が進行し、気道過敏性の増悪、ひいては発作頻度の増加が生じることが大きな問題で、それを抑制することが治療の大きな目標の一つとなっています。咳喘息においても気道リモデリングを生じることが知られており、治療の目標という点においても咳喘息は古典的な気管支喘息と大きくは変わりません。

咳喘息の治療は基本的には古典的な気管支喘息と同様で、吸入ステロイド剤が治療の中心です。また、近年、吸入ステロイド剤に合わせて、気管支拡張薬であるβ刺激剤を合剤とした製剤もよく使われており、鎮咳効果が期待されます。また、治療オプションとして、ロイコトリエン受容体拮抗薬、長時間作用型抗コリン薬の吸入薬なども知られており、特にロイコトリエン受容体拮抗薬は咳嗽反射感度に作用するとされています。

このように咳喘息の病態は咳嗽反射の感度が上昇していること以外はほとんど古典的な気管支喘息と同様であり、禁忌薬や注意を要する処方については通常の気管支喘息患者と同様に考えていただければよいと思います。

## 宮大医学部学生のページ



## 部活動紹介 ～FMIG宮崎～

宮崎大学医学部 医学科5年 <sup>か</sup> <sup>とう</sup> <sup>り</sup> <sup>か</sup> <sup>こ</sup> 加藤利佳子

FMIG (Family Medicine Interest Group) 宮崎は、2016年に設立された、地域医療・家庭医療に関するサークルです。FMIGは、米国に存在する、家庭医療に興味を持つ公式・非公式団体として発足したもので、それを真似てFMIG宮崎は設立されました。地域医療や総合診療に興味のある多くの学生が在籍しており、現在、医看合わせて80名ほど在籍している、マンモス部活といえます。いわゆる、“意識高め”の学生が集まっていると感じますので、学生に参加してほしいイベントなどがあれば、ぜひご連絡いただきたいです。実際に、OB、OGの方々より、セミナーや勉強会のご連絡をいただき、同時に縦のつながりを得られ、大変嬉しく思っております。

ここからは活動内容についてお話しします。週1回お昼休みに行われている勉強会では、主に上級生がプレゼンしています。基礎医学、臨床、手技など多分野にわたり、内容のリクエストも受けながら開催しています。下級生にとっては勉強に、上級生にとっては良い復習とプレゼンの練習になっています。百均で紐を購入し、

外科結紮を皆で練習したセミナーは、とても盛り上がりました。

ぬいぐるみ病院では、園児に持参してもらったぬいぐるみを患者に見立て、学生が診察をし、数日間、園児にぬいぐるみのお世話をしてもらっています。園児に対する健康教育や、学生にとっては医療者体験になる良い機会です。

また、年一回行われる、日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 (JPCA) に参加しています。JPCAは、日本でのプライマリ・ケアを専門とする医療従事者のための団体です。学生発表にも積極的に演題を出しており、活動報告や、研究発表をしています。例として、私が1年生の時に研究発表したものをご紹介します。入学したころに、同級生が、「地域医療」という言葉に対して、僻地、最先端とはかけ離れる、医療資源が少ないなど、マイナスな印象を抱いていることを感じました。学年を重ねるごとに、学生の意識がどのように変わっていくのか、ということを中心に、学生ながらに調査し、統計を取りました。やはり、授業や実習などが影響して変化していくものでしたが、時

代の流れや、大学ごとの違いなどもあると感じております。来年度は、2023年5月に愛知で開催されます。FMIGからは、活動報告と、研究発表の2題を発表予定です。お時間のある方はぜひお越しください。学会でのもう一つの大きな醍醐味が、観光です。今年度は横浜での開催でしたので、中華街を回ったり、デパートで買い物をしたりしました。また、カップヌードルミュージアムでオリジナルのカップ麺を作ったり、世界各国の麺料理を食べたのはとてもいい思い出です。

直近の活動報告といたしましては、2023年3月に、大分大学と合同で、総合診療に関するイベントを開催予定です。延岡市のホテル会場を貸し切って、1泊2日で行われます。多職種連携について考えるセッション、脱出ゲームなど、楽しい内容となっております。夜の懇親会は、オンラインで開催し、学生同士で語り合っ

たり、現地に来れない医師ともつなぎ、今後のキャリアプランなどを相談できる場を設けています。医学科向けのイベントですが、宮崎、大分合わせて25名の学生が参加予定です。他大学、多職種の方々、さまざまなキャリアをお持ちの先生方と交流し、有意義な会となることを期待しています。

コロナ禍以前は、ホスピス訪問や、BLS (Basic Life Support) の一般の方向け講習、皮膚科での問診体験、小児糖尿病キャンプ、留学生との交流、米国の家庭医の先生の講演など、さまざまな活動をおこなってまいりました。受け入れ先機関とも疎遠となり、下級生は経験を積めていないのが現状です。来年度はこのような活動が復活し、新たな活動に挑戦したり、より多くの学びを得られることを願っております。

今後ともFMIG宮崎をどうぞよろしくお願い申し上げます。



2022年度学術大会 @ 横浜の様子



ぬいぐるみ病院

## お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
1月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「診療情報の提供等に関する指針」の一部改正について</li> <li>・自転車用ヘルメットの着用について（通知）</li> <li>・オンライン請求医療機関に対する返戻再請求および再審査申出のオンライン化に関するQ &amp; A（その2）の送付について</li> <li>・「使用上の注意」の改訂について</li> <li>・「使用上の注意」の改訂について</li> <li>・電子情報処理組織等を用いた費用の請求等に関する取扱いについて</li> <li>・死亡診断書（死体検案書）への記入について（要望）</li> <li>・石綿障害予防規則の一部を改正する省令の施行について（情報提供）</li> <li>・「労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令」及び「労働安全衛生規則及び特定化学物質障害予防規則の一部を改正する省令」の施行について</li> <li>・新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（ゾコバ錠125mg）の医療機関及び薬局への配分について</li> <li>・新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（ゾコバ錠125mg）の使用にあたっての注意喚起について</li> <li>・医療機関における救急医療のひっ迫回避に向けた取組について</li> <li>・乾燥細胞培養日本脳炎ワクチンの限定出荷の解除について</li> <li>・「新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方及びその疑いがある方の処置、搬送、葬儀、火葬等に関するガイドライン」の改正について（再周知）</li> <li>・令和5年1月24日からの大雪による災害の被災者に係る被保険者証等の提示等及び公費負担医療の取扱いについて</li> </ul>
1月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その41）」の送付について</li> <li>・保険医療機関及び保険医療費担当規則等の一部改正に伴う実施上の留意事項について</li> <li>・令和5年1月24日からの大雪による災害の被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について</li> <li>・令和5年1月24日に発生した大雪に伴うオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について</li> <li>・令和5年1月24日からの大雪による災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について</li> <li>・HPKIカードのリモート署名における電子証明書について</li> <li>・日本医師会「オンライン診療の適切な事例、不適切な事例、並びにコロナ禍におけるオンライン診療の活用に関するアンケート」の結果等につきまして</li> <li>・「医療非常事態宣言」の延長に係る周知について（依頼）</li> </ul>

送付日	文 書 名
1月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな「みやざきモデル」に係る周知について（依頼）</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染者に係る報告について（再周知）</li> <li>・医療機関等への抗原定性検査キットの配付について（通知）</li> <li>・令和4年度介護事業実態調査（介護従事者処遇状況等調査）への御協力依頼について（再周知）</li> <li>・「ケアプランデータ連携システム説明会（追加開催）」について（情報提供）</li> <li>・社会保障審議会介護保険部会における意見書の送付について</li> <li>・ファイザー社ワクチン及びモデルナ社ワクチンの有効期限の取扱いについて（通知）</li> <li>・油症患者受療券の利用可能医療機関の拡大に関する協力依頼について</li> </ul>
2月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンスの一部改正案」に関する意見募集について</li> <li>・かぜ薬等の添付文書等に記載する使用上の注意の一部改正について</li> <li>・医薬品等輸入確認情報システムの稼働に伴う医薬品等輸入確認要領の改正に関する通知について</li> <li>・令和5年4月1日からの診療報酬上の特例措置について</li> <li>・病院における医療情報システムのバックアップデータ及びリモートゲートウェイ装置に係る調査について（周知依頼）</li> <li>・電子処方箋の運用開始について</li> <li>・介護福祉士国家資格における令和4年度末に期限を迎える経過措置登録者に係る周知について</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更等に関する対応方針について（情報提供）</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針の変更等について（周知依頼）</li> <li>・乾燥ヘモフィルスb型ワクチン（破傷風トキソイド結合体）（販売名：アクトヒブ）の針なしシリンジ製品の供給開始について</li> <li>・インフルエンザ抗原検査キットの発注等について（協力依頼）</li> <li>・「ケアプランデータ連携システム説明会」の動画公開等について（情報提供）</li> </ul>
2月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都道府県労働局への『「医療・介護・保育」求人者向け特別相談窓口』の設置に対する周知について</li> <li>・官報掲載事項の一部訂正について</li> <li>・厚生労働省委託事業「訪日外国人受診者医療費未払情報の報告に関する説明会（第6回）のご案内」につきまして</li> <li>・第21回健康づくりセミナー開催について（ご案内）</li> <li>・令和5年度脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業の公示の周知について</li> <li>・「オンライン資格確認」アカウント登録のためのダイレクトメール発送（協力依頼）および「医療提供体制設備整備交付金の実施について」の一部改正について</li> <li>・「高齢者施設等における面会の再開・推進にかかる高齢者施設等の職員向け動画及びリーフレットについて」の周知について</li> <li>・予防接種実施規則の一部を改正する省令の公布について</li> </ul>

送付日	文 書 名
2月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度在宅療養支援診療所・在宅療養支援病院・在宅時医学総合管理料および施設入居時等医学総合管理料届出施設調査について（依頼）</li> <li>・令和4年度地域医療介護総合確保基金（介護分）の内示について（2回目）</li> <li>・令和4年度地域医療介護総合確保基金（介護分）管理運営要領の一部改正について</li> </ul>
2月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療広告規制におけるウェブサイトの事例解説書（第2版）について</li> <li>・「診療情報の提供等に関する指針」の一部改正について</li> <li>・検査料の点数の取扱いについて</li> <li>・「特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について」等の一部改正について</li> <li>・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について</li> <li>・令和4年度「女性の健康週間」に対する協力依頼について</li> <li>・「HPKIのリモート署名における電子署名について」に関する周知について</li> <li>・日本医師会第17回男女共同参画フォーラムの開催について</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の積極的疫学調査におけるゲノム解析及び変異株PCR検査について（一部改正）</li> <li>・結核の集団発生に係る注意喚起について（依頼）</li> <li>・保育所における感染症対策ガイドライン（2018年改訂版）（2022（令和4）年10月一部改訂）の一部修正について</li> <li>・消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）の開始に向けた周知等について</li> </ul>
2月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2023年度日本医師会生涯教育制度について</li> <li>・「医療用医薬品の流通改善に向けて流通関係者が遵守すべきガイドライン」の周知について</li> <li>・水銀血圧計等の回収促進に向けた周知及びアンケート調査への御協力について（依頼）</li> <li>・厚生労働省委託事業令和4年度「医療情報セキュリティ研修及びサイバーセキュリティインシデント発生時初動対応支援・調査事業」にかかる研修の追加開催について</li> <li>・「病原微生物検出情報」の送付について</li> <li>・介護現場における感染対策の手引き（第2版）の一部改訂について</li> <li>・令和4年度地域づくり加速化事業全国研修の実施について</li> <li>・予防接種法令におけるスパイクバックス筋注（1価：起源株）の削除に伴う関係通知について</li> <li>・サル痘に関する情報提供及び協力依頼について</li> <li>・マスク着用の考え方の見直し等について（令和5年3月13日以降の取扱い）</li> <li>・今後の新型コロナワクチン接種について（その2）</li> <li>・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する医療機関向け手引き」の改訂について（10.0版）</li> <li>・「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第9.0版」の周知について</li> <li>・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き」（自治体向け）の改訂について（14版）</li> </ul>
2月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本医師会員統計資料集（令和4年12月31日現在）」の公開について</li> <li>・死因究明を行うための体制整備の推進について（周知依頼）</li> <li>・アベルマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（メルケル細胞癌，腎細胞癌及び尿路上皮癌）の一部改正について</li> </ul>

送付日	文 書 名
2月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「外来機能報告の報告様式2のスケジュール等について」及び「「令和4年度外来機能報告制度に関するQ&amp;A」について（その1）」</li> <li>・オンライン資格確認導入に関する拡充措置でない補助金を受けるためのカードリーダーの申込期限について</li> <li>・観光庁 令和4年度補正予算訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業の公募開始について</li> <li>・「学校保健安全法に基づく児童生徒等の健康診断の実施等に係る対応について（周知依頼）」の送付について</li> <li>・文部科学省発出「卒業式におけるマスクの取扱いに関する基本的な考え方について」の送付について</li> <li>・厚生労働省関係省令第三条の規定による改正前の予防接種実施規則の一部を改正する省令の公布について</li> <li>・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施について（指示）」の一部改正について（通知）</li> <li>・ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種に関する相談支援・医療体制強化のための地域ブロック拠点病院整備事業の公募の実施について</li> <li>・「子ども予防接種週間」の実施に係る厚生労働省通知について</li> <li>・赤道ギニア共和国におけるマールブルグ病の発生に係る注意喚起について</li> <li>・文部科学省通知「いじめ問題への的確な対応に向けた警察との連携等の徹底について」の周知について（情報提供）</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針の変更等について（周知依頼）</li> </ul>
2月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「「使用上の注意」の改訂について」の訂正について</li> <li>・レナリドミド製剤及びポマリドミド製剤の使用に当たっての安全管理手順の改訂について</li> <li>・「肝炎医療コーディネーターの養成及び活用について」の一部改正について（周知依頼）</li> </ul>
2月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本会会長から非医師会員に対する親書の送付について</li> <li>・「広告が可能な医師等の専門性に関する資格名等について」の一部改正について</li> <li>・健康保険法施行令等の一部を改正する政令の公布について（出産育児一時金等の支給総額について）</li> <li>・「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律施行規則第十五条の二の規定に基づき濫用等のおそれのあるものとして厚生労働大臣が指定する医薬品」の改正について</li> <li>・「かぜ薬等の添付文書等に記載する使用上の注意の一部改正について」の訂正について</li> <li>・「医療警報」への移行に係る周知について（依頼）</li> <li>・「新型コロナワクチン 予診票の確認のポイント Ver9.1」について</li> <li>・ファイザー社の5歳から11歳用の新型コロナワクチン（オリジナル株とオミクロン株（BA.4/5）の2価ワクチン）の配送等について</li> <li>・パキロビッドパックの使用期限の取扱いについて</li> <li>・新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（パキロビッドパック）の医療機関及び薬局への配分について（別紙、質疑応答集の改正）</li> <li>・医療用物資の国備蓄品の売却について</li> </ul>

# 医師の求人・求職は 日本医師会 女性医師バンク をご利用ください！

日本医師会女性医師バンクは厚生労働省の委託事業です。  
登録から紹介・成立まで、費用はすべて無料で利用できます。



## 女性医師バンクが選ばれる3つのポイント

ポイント

1

### 登録～成立まで費用はすべて無料

登録料、情報掲載料、紹介手数料、成立手数料、相談・サポートなど、  
すべて無料でご利用いただけます。

ポイント

2

### 専任のコーディネーターによるサポート体制

経験豊富な専任のコーディネーターが、紹介～成立後の相談まで  
きめ細かにサポートいたします。

ポイント

3

### 日本全国、日本医師会の会員・非会員を問わず利用が可能

まずはお気軽にご相談ください！

☎03-3942-6512 (平日10:00～17:00)

詳しくはWebサイトをご覧ください

日本医師会女性医師バンク 検索

日本医師会女性医師バンク 中央センター 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館B1F

## 日州医事原稿募集のお知らせ

日州医事では、会員の皆様から随筆、旅行記、ご意見などさまざまな投稿を随時受け付けております。以下の要領に沿ってご投稿ください。

### ■ 随想・随筆・旅行記

字数：3,000字以内

写真：執筆者顔写真，その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

### ■ 短歌・俳句・川柳・詩

字数：それぞれの一般的な文字数（500字以内）

写真：執筆者顔写真，その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

### ■ 宮崎グルメ探訪

題材：お気に入りのお店をご紹介ください。お店の雰囲気やお薦めの料理、思い出話など

字数：800字程度

写真：執筆者顔写真，その他料理などの写真（2枚程）

※掲載は白黒

### ■ 私の本/私が推薦する本

題材：書物の紹介，読みどころ，執筆の思い出・思い入れなど

字数：800字以内

写真：執筆者顔写真，書物の表紙写真

### ■ その他

- ・夏の「はまゆう随筆」，新年の「新春随想」はその時期に本誌で原稿募集の案内をいたします。
- ・随筆などに掲載する，カット・イラストも随時募集しています。

### ～上記のコーナーにご投稿いただくにあたっての留意事項～

■掲載の可否・方法につきましては広報委員会にご一任ください。

■原稿の趣旨を変えない範囲で，日州医事のルールにしたがって表記などの修正をさせていただきます場合があります。

■日州医事は，各都道府県医師会や行政・図書館・報道機関などにも配布しています。

### ■すべての投稿について

広報委員会で以下のいずれかに該当すると判断した場合には，修正または掲載をご遠慮いただくことがあります。

- ・著作権をはじめ，法令に定める権利やプライバシーを侵害するもの
- ・誹謗中傷や差別など，他の団体，個人または読者に不利益や嫌悪感を与える可能性があるもの
- ・布教や政治活動など，特定の宗教上や政治上の信条に偏ったもの
- ・公序良俗に反し，法律で禁止されている行為など，その他不適切と判断されるもの
- ・事実誤認，難解，過度な宣伝広告など

【原稿送付・問合せ先】ご投稿は主にメールで受け付けております。

宮崎県医師会広報委員会 日州医事担当（弓削）

Tel 0985-22-5118 Fax 0985-27-6550 E-mail genko@miyazaki.med.or.jp

## あ と が き



実習が始まって約3か月が過ぎました。ようやく実習生活にも慣れ、忙しくも充実した生活を送ることができています。クリクラIの実習は約1年間あるので4分の1程度が終わりましたが、ここで今まで回ってきた科のレビューをしてみたいと思います。

最初に回った科は血液・糖尿病・内分泌内科でした。血液内科では自分の血液型を調べる実習があり、

そこで今まで自分が思っていた血液型と違う結果が出た人がいて面白かったです。2つ目の科は病理部・検査部でした。患者さんと直接関わることはない部門ですが、診断をするためにはなくてはならない部門であることを実感しました。病理は3年生の時に学んで苦手な分野でしたが、質問に丁寧に答えていただき少し苦手意識は軽くなった気がします。続いて3つ目の科は、呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科です。カンファレンスでは学生の近くに先生方がついてくださり、学生の質問に答えていただき非常に勉強になりました。レクチャーも多くこちら大きな学びになりました。4つ目は薬剤部・医療安全学です。薬剤部では、薬の取り違えなどがないような工夫がいたるところになされていることを実際に見ることができました。最後に5つ目は小児科です。ここでは初めて担当の患者さんが割り当てられ、実習の最後に症例について発表をしました。初めての症例発表だったのでまとめ方など分からないことだらけでしたが、ここでも担当の先生に丁寧に教えていただきました。どの科に行っても熱心に教えていただけて、恵まれた環境で実習できていることを実感しています。まだまだ実習は続きますが、積極的に取り組んでいきたいです。(鍛冶川)

\* \* \*

先日、子どもの行事に便乗してはじめて九重高原スキー場に行きました。当日は天気も良く、暖かかったので恐れていたチェーン規制もなく無事に到着することができました。15年ぶりにスノーボードをやりましたが、以前は一日中滑っても平気だったものが、わずか1～2時間滑っただけで、太腿やふくらはぎがパンパンになりました。毎日スクワットと腕立てしてるのに……。歳のせい？ いやいや、雪質も悪いし、普段使わない筋肉を使ったし、久しぶりのスノボで筋肉が緊張したせいでしょう。(稲倉)

\* \* \*

昨年末にマンションを出て一軒家に引っ越しをしました。そうしたら今冬は大寒波となり、正直かなり寒かったです。サッシなどの取り替え工事をするところまでにはいかなかったため、ニトリでプチプチの断熱材を買って窓に貼って回ってなんとか凌いでいました。最近やっと暖かくなりホッとしているところです。(高橋)

\* \* \*

2023.2.17世の中は侍ジャパンでフィーバーしています。今、私の中の一番は2.21武藤敬司引退試合です。青春時代に新日本プロレスに現れ、グレートムタ、闘魂三銃士、nWo、全日本プロレス社長、W-1旗揚げ、NOAH入団とたくさんの名勝負を見せてくれました。その時々の武藤敬司の姿が石田康行の思い出と重なり、時の流れを感じています。残念なのはこの引退試合を知っている人がほとんどいないことです。2.21は泣きながらPPV(ペーパービュー)を見たいと思っています。(石田)

医学生や研修医の方々と日々接していると、その成長の速度に驚き、嬉しい気持ちになる場面がたくさんあります。自分自身も「もっともっと成長したい!」という気持ちはあるものの、この1年を振り返り“何がどれくらい成長したのか?”と自問すると、ぱっと答えが出てきません…。4月から頑張ります!!(早川)

\* \* \*

2年間務めさせていただいた学生広報委員も今月で終わりとなります。あまり役に立つことはできなかったかもしれませんが、先生方や先輩方が温かく迎え入れてくださったことに本当に感謝しています。日州医事の記事に毎月触れることで、宮崎の医療について考える大きなきっかけとなりました。まずは国試に合格して医師になるために、残り一年必死に勉強したいと思います。2年間ありがとうございました。(安藤)

\* \* \*

ある日曜日に、ふと昔外勤先(日南)で食べていた町の洋食屋Sの焼き飯が食べたくなり観光列車「海幸・山幸」に乗り込んだ。見慣れた車窓からの景色であったが、車内では乗務員による景観の解説また海幸・山幸の紙芝居などあり、地元民ながら県外客に紛れ込み昼ビールを飲みながらプチ旅行気分を十分味わった。約半日の行程であったが日常診療の疲れを癒すにはコスパ的にも満足いくものであった。皆様もいかがですか?(高木)

## 今月のトピックス

### 随 筆

串間美昭先生に「その日の出来事」と友成久雄先生から「真夏に植えた庭の花壇」の話題をいただいております。一生に一回でよいのでホールインワン、やってみたいですね。父（菊池武英）もいまだにゴルフと園芸を続けております。年をとっても続けていける趣味といえますね。 6 ページ

### 診療メモ 気管支喘息について

気管支喘息について、松元信弘先生にご享受いただいております。アスピリン喘息の説明での湿布薬と呼吸苦の関連について、参考になりました。 64 ページ

### 宮大医学部学生のページ 部活動紹介 ～FMIG宮崎～

加藤利佳子さんにFMIG（Family Medicine Interest Group）の活動について紹介していただいております。さすが医大生といった内容で関心いたしました。自身の学生時代のことを考えると恥ずかしい限りです。しっかりした活動内容と更に楽しさも伝わってまいります。 66 ページ

日 州 医 事 第883号(令和5年3月号)(毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会 長 河 野 雅 行  
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550  
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 稲倉 琢也

副 委 員 長 菊池 英維

委 員 植田 雄一, 高橋 典子, 石田 康行,  
長井 慎成, 早川 学, 横山 晃子

学 生 委 員 平井 昂也, 安藤菜々子, 鍛冶川雄登, 山本 樹

担 当 副 会 長 山村 善教

担 当 理 事 荒木 早苗, 高木 純一, 佐々木 究

事 務 局 学 術 広 報 課 弓削 圭介, 牧野 諭

印刷所 有限会社 中川印刷 落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円(但し, 県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)